

大学番号 010

注3

設置年度 令和 元年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前伺い**

東北大学大学院 文学研究科 日本学専攻

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人東北大学  
令和3年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部法務・コンプライアンス課

職名・氏名 課長 スガフラ タカシ 菅原 隆

法規係長 ヒロカワ ナオアキ 廣川 尚映

電話番号 022-217-4809

（夜間） 022-217-4809

e-mail hosei@grp.tohoku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

文学研究科

＜日本学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1
2. 授業科目の概要 . . . . .	5
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	9
4. 既設大学等の状況 . . . . .	10
5. 教員組織の状況 . . . . .	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	24
7. その他全般的事項 . . . . .	25

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人東北大学

## (2) 大学名

東北大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒980-8576  
宮城県仙台市青葉区川内27番1号  
(〒980-8577  
宮城県仙台市青葉区片平2丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オオノ ヒデオ) 大野 英男 (平成30年4月)		
研究科長	(モリモト コウイチ) 森本 浩一 (平成29年4月)	(ヤナギハラ トシアキ) 柳原 敏昭 (令和2年4月)	任期満了のため令和2年4月1日付けで変更(2)
専攻長	(オオコウチ ショウ) 大河内 昌 (平成31年4月)	(サクラ ヨシヤス) 佐倉 由泰 (令和2年4月)	任期満了のため令和2年4月1日付けで変更(2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学研究科 日文学専攻 (博士後期課程) 博士(文学) 博士(学術)	文学関係	3年	14人	-	42人	新規入学者を募集	基礎となる学部等：文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	14 ( - ) [ - ]	-	14 ( - ) [ - ]	-	14 ( - ) [ - ]	-	1.25倍	-	
志願者数	27 ( 0 ) [ 16 ]	- ( - ) [ - ]	22 ( 0 ) [ 11 ]	- ( - ) [ - ]	17 ( 0 ) [ 9 ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	26 ( 0 ) [ 16 ]	- ( - ) [ - ]	22 ( 0 ) [ 11 ]	- ( - ) [ - ]	19 ( 0 ) [ 9 ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	20 ( 0 ) [ 13 ]	- ( - ) [ - ]	17 ( 0 ) [ 8 ]	- ( - ) [ - ]	16 ( 0 ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	20 ( 0 ) [ 13 ]	- ( - ) [ - ]	17 ( 0 ) [ 8 ]	- ( - ) [ - ]	16 ( 0 ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	1.42		1.21		1.14				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	20 [ 13 ] ( - )	- [ - ] ( - )	17 [ 8 ] ( - )	- [ - ] ( - )	16 [ 7 ] ( )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		19 [ 12 ] ( - )	- [ - ] ( - )	17 [ 8 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次	/		/		19 [ 12 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計	20 [ 13 ] ( - )		36 [ 20 ] ( - )		52 [ 27 ] ( - )		

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	20 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	37 人	1 人	令和元年度	1 人	1 人	[就職(1人)]
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	52 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		1 人		1 人	1 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{37} = \boxed{2.7} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{52} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<文学研究科 日本学専攻 博士後期課程>

(1) -① 授業科目表

### 【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			1					兼2
	小計 (1科目)	—	2			1					兼2
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		1					兼7
	西洋古典文化特論	1後		2							兼1
	人文社会科学研究	1前		2							兼1
	英語発表技能演習	1後		2			1				
	英語研究論文作成法	1前		2							兼1
	日本語研究論文作成法	1前		2		1					
	人文統計基礎演習	1後		2							兼1
	キャリア設計演習	1後		2							兼1
	小計 (8科目)	—		16		2	1				兼12
	学術実践活動	学術発表実習 I	1・2・3通		2						
学術発表実習 II		1・2・3通		2							兼1
国際活動実習 I		1・2・3通		2							兼1
国際活動実習 II		1・2・3通		2							兼1
研究・教育実践活動実習 I		1・2・3通		2							兼1
研究・教育実践活動実習 II		1・2・3通		2							兼1
小計 (6科目)		—		12							兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			6	9				兼2
	小計 (1科目)	—	8			6	9				兼2
合計 (16科目)	—	10	28		6	9				兼16	
修了要件及び履修方法											
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

### 【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			2	3				兼10
	小計 (1科目)	—	2			2	3				兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		1					兼7
	西洋古典文化特論	1後		2							兼1
	人文社会科学研究 I	1前		2							兼1
	人文社会科学研究 II	1後		2							兼1
	日本語・日本文化論特論 I	1前		2							兼1
	日本語・日本文化論特論 II	1後		2							兼1
	英語発表技能演習	1後		2			1				
	英語研究論文作成法 I	1前		2							兼1
	英語研究論文作成法 II	1後		2							兼1
	日本語研究論文作成法 I	1前		2		1					兼1
	日本語研究論文作成法 II	1後		2							兼1
	人文統計基礎演習	1前		2							兼1
	キャリア設計演習	1後		2							兼1
	科学技術社会論実践演習	1前		2							兼5
小計 (14科目)	—		28		1	1				兼18	
学術実践活動	学術発表実習 I	1・2・3通		2							兼1
	学術発表実習 II	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習 I	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習 II	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習 I	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習 II	1・2・3通		2							兼1
	小計 (6科目)	—		12							兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			12	7				
	小計 (1科目)	—	8			12	7				
合計 (22科目)	—	10	40		12	7				兼28	
修了要件及び履修方法											
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			3	2					兼10
	小計(1科目)	—	2			3	2					兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前	2			1						兼7
	西洋古典文化特論	1後	2									兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前	2									兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後	2									兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前	2									兼2
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後	2									兼2
	英語発表技能演習	1後	2				1					
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1
	人文統計基礎演習	1前	2									兼1
	キャリア設計演習	1後	2									兼1
小計(13科目)	—		26			1	1					兼13
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1
小計(6科目)	—		12									兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			10	9					兼2
	小計(1科目)	—	8			10	9					兼2
合計(21科目)			—	10	38		10	9				兼22
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			3	2					兼10
	小計(1科目)	—	2			3	2					兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前	2			1						兼7
	西洋古典文化特論	1後	2									兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前	2									兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後	2									兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前	2									兼2
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後	2									兼2
	英語発表技能演習	1後	2				1					
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1
	人文統計基礎演習	1前	2									兼1
	キャリア設計演習	1後	2									兼1
	科学技術社会論実践演習	1前	2									兼5
小計(14科目)	—		28			1	1					兼18
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1
小計(6科目)	—		12									兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			12	7					兼1
	小計(1科目)	—	8			12	7					兼1
合計(22科目)			—	10	40		12	7				兼29
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
- ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和元年度】**

- ・教育内容の充実のため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授1、兼2」から「教授3、准教授2、兼10」に変更。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究」から「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法」から「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実及び担当教員見直しのため、授業科目名を「日本語研究論文作成法」から「日本語研究論文作成法Ⅰ」に、専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更するとともに、「日本研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・准教授から教授への昇任4名、准教授3名採用並びに講師1名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授6、准教授9」から「教授10、准教授9」に変更。

**【令和2年度】**

- ・担当教員見直しのため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」及び「日本語・日本文化論特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「科学技術社会論実践演習」を新設。
- ・准教授から教授への昇任2名及び兼任講師1名就任辞退のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授10、准教授9、兼2」から「教授12、准教授7、兼1」に変更。

**【令和3年度】**

- ・担当教員見直しのため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、兼10」から「教授2、准教授3、兼10」に変更。
- ・兼任講師1名就任辞退のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授12、准教授7、兼1」から「教授12、准教授7」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2科目	14科目	0科目	16科目	2科目	20科目	0科目	22科目	
				[ 0 ]	[ 6 ]	[ 0 ]	[ 6 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考				
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	借用地減少等のため(3) 購入のため(2)				
	校舎敷地	21,912,174㎡ <del>21,917,049㎡</del> 21,915,365㎡	0㎡	0㎡	21,912,174㎡ <del>21,917,049㎡</del> 21,915,365㎡					
	運動場用地	132,573㎡	0㎡	0㎡	132,573㎡					
	小計	22,044,747㎡ <del>22,049,622㎡</del> 22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,044,747㎡ <del>22,049,622㎡</del> 22,047,938㎡					
	その他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡					
	合計	22,044,747㎡ <del>22,049,622㎡</del> 22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,044,747㎡ <del>22,049,622㎡</del> 22,047,938㎡					
(2) 校舎	専用	1,123,168㎡ <del>1,119,573㎡</del> 1,121,513㎡	0㎡	0㎡	1,123,168㎡ <del>1,119,573㎡</del> 1,121,513㎡	新築、増築等のため(3) 一部取り壊しのため(2)				
		(1,121,513㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(1,121,513㎡)					
(3) 教室等	講義室	12室	演習室	16室	実験実習室	13室	情報処理学習施設	1室	語学学習施設	0室
							(補助職員 3人)		(補助職員 0人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室数		専任教員退職のため(2)			
	文学研究科 日文学専攻				19 20 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標本	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数		
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					[うち外国書]	
	文学研究科 日文学専攻	冊	種	種	点	点	点			
		4,181,137 [1,972,543]	86,703 [44,235]	15,412 [13,916]	7,454	48,221	2,432,338			
		<del>4,180,950 [1,974,780]</del>	<del>86,598 [42,652]</del>	<del>13,643 [13,528]</del>	<del>7,429</del>	<del>48,462</del>	<del>2,432,337</del>			
		4,168,468 [1,974,876]	86,198 [42,422]	13,287 [13,272]	8,242	45,198	2,432,339			
<del>(4,181,137 [1,972,543])</del>	<del>(86,703 [44,235])</del>	<del>(15,412 [13,916])</del>	<del>(7,454)</del>	<del>(48,221)</del>	<del>(2,432,338)</del>					
<del>(4,180,950 [1,974,780])</del>	<del>(86,598 [42,652])</del>	<del>(13,643 [13,528])</del>	<del>(7,429)</del>	<del>(48,462)</del>	<del>(2,432,337)</del>					
<del>(4,168,468 [1,974,876])</del>	<del>(86,198 [42,422])</del>	<del>(13,287 [13,272])</del>	<del>(8,242)</del>	<del>(45,198)</del>	<del>(2,432,339)</del>					
計	4,181,137 [1,972,543]	86,703 [44,235]	15,412 [13,916]	7,454	48,221	2,432,338				
	<del>4,180,950 [1,974,780]</del>	<del>86,598 [42,652]</del>	<del>13,643 [13,528]</del>	<del>7,429</del>	<del>48,462</del>	<del>2,432,337</del>				
<del>4,168,468 [1,974,876]</del>	<del>86,198 [42,422]</del>	<del>13,287 [13,272]</del>	<del>8,242</del>	<del>45,198</del>	<del>2,432,339</del>					
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体			
	41,253㎡ <del>37,050㎡</del> 45,481㎡		2,177席 <del>2,554席</del> 2,885席		4,350,944冊 <del>3,914,722冊</del> 4,328,122冊					
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	7,064㎡ <del>7,024㎡</del>		武道場							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度			
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円			
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円			
	学生1人当り	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		納付金	千円	千円	千円	千円	千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		東北大学				学生募集停止学科数		0		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		0		備考
既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地			
		年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
文学部	人文社会学科	4	210	—	840	学士（文学）	1.05	1.07		平9年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号			
教育学部	教育科学科	4	70	—	280	学士（教育学）	1.05	1.05		平10年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号			
法学部	法学科	4	160	—	640	学士（法学）	1.04	1.03		昭24年度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号			
経済学部	経済学科	4	130	3年次10	540	学士（経済学）	1.03	1.01		昭24年度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号			
	経営学科	4	130	3年次10	540					昭43年度				
	計		260	20	1,080									
理学部	数学科	4	45	—	180	学士（理学）	0.98	1.00		昭24年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号			
	物理学科	4	78	—	312		1.00	1.00		平6年度改組・統合				
	宇宙地球物理学科	4	41	—	164					平4年度改組				
	化学科	4	70	—	280		1.07	1.01		平7年度改組・統合				
	地圏環境科学科	4	30	—	120					平4年度改組				
	地球惑星物質科学科	4	20	—	80		1.01	1.02		平4年度改組（平20年度改称）				
	生物学科	4	40	—	160		1.04	1.02		昭24年度				
	計		324	—	1,296		1.01	1.00						
医学部	医学科	6	116	—	772	学士（医学）	1.00	1.00	令和2	昭24年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	令和2年度定員変更（11）		
	保健学科	4	144	—	576	学士（看護学） 学士（保健学）	1.00	1.02		平16年度改組				
	計		260	—	1,348	1.00	1.01							
歯学部	歯学科	6	53	—	318	学士（歯学）	1.00	1.00		昭40年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号			
薬学部	創薬科学科	4	60	—	240	学士（創薬科学）	1.06	1.05		平18年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号			
	薬学科	6	20	—	120	学士（薬学）	1.06	1.05						
	計		80	—	360	1.06	1.05							

工学部	機械知能・航空工学科	4	234	—	936	学士 (工学)	1.00	0.95		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号	
	電気情報物理工学科	4	243	—	972		1.02	1.03		平16年度改組 (平19年度・平27年度改称)		
	化学・バイオ工学科	4	113	—	452		1.00	1.02		平16年度改組		
	材料科学総合学科	4	113	—	452		1.02	1.03				
	建築・社会環境工学科	4	107	—	428		0.99	0.98				
	計		810	—	3,240		1.01	1.00				
農学部	生物生産科学科	4	90	—	360	学士 (農学)	1.03	0.98		平4年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1	
	応用生物化学科	4	60	—	240							
	計		150	—	600							

※ 複数の学科を有する学部の学生募集は、経済学部、薬学部及び農学部にあつては学部一括で、理学部にあつては1又は複数の学科毎にそれぞれ行い、学生の所属学科は、第1次修了時、第2次又は第3次に決定する。

文学研究科	日本文学専攻	5	29	—	58	修士 (文学) 修士 (学術) 博士 (文学) 博士 (学術)	1.27	1.31	令和元	令和年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	学生数は、上段が前期課程で、下段が後期課程である。
			14	—	42		1.25	1.14				
	広域文化学専攻	5	29	—	58		0.73	0.79	令和元			
			12	—	36		0.99	1.08				
総合人間学専攻	5	31	—	62	1.12	1.16	令和元					
		12	—	36	1.16	1.33						
教育学研究科	総合教育科学専攻	5	45	—	90	修士 (教育学) 修士 (教育情報学) 博士 (教育学) 博士 (教育情報学)	0.94	0.97		平30年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
			15	—	45		0.86	0.80				
法学研究科	法政理論研究専攻	5	10	—	20	修士 (法学) 修士 (学術) 博士 (法学) 博士 (学術)	0.90	0.30		平12年度改組 (平18年度改称)	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
			12	—	36		0.71	0.41				
	総合法制専攻 (法科大学院の課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.95	0.98		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号	
	公共法政策専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	公共法政策修士 (専門職)	0.98	0.96				
経済学研究科	経済経営学専攻	5	60	—	120	修士 (経済学) 修士 (経営学) 修士 (学術) 博士 (経済学) 博士 (経営学) 博士 (学術)	0.86	0.60		平17年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	令和2年度定員変更(△6)
			14	—	48		0.67	0.28				
	会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	—	80	会計修士 (専門職)	0.89	0.87		平17年度		

理学研究科	数学専攻	5	38 18	— —	76 54	修士 (理学) 修士 (学術) 博士 (理学) 博士 (学術)	0.98 0.62	1.02 0.66		平7年度 改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
	物理学専攻	5	91 46	— —	182 138		0.81 0.55	0.76 0.41		平6年度 改組		
	天文学専攻	5	9 4	— —	18 12		1.55 0.75	1.44 0.75		平6年度 改組		
	地球物理学専攻	5	26 13	— —	52 39		1.01 0.58	1.03 0.46		平7年度 改組		
	化学専攻	5	66 33	— —	132 99		1.08 0.64	0.92 0.72		平7年度 改組		
	地学専攻	5	32 16	— —	64 48		1.14 0.52	1.00 0.50		平6年度 改組		
	医学系研究科	医科学専攻 (修士課程)	2	30	—		60	修士 (医科学) 修士 (学術)	1.19	1.16		
医科学専攻 (博士課程)		4	130	—	520	博士 (医学) 博士 (学術)	1.08	0.93		平9年 度改組		
障害科学専攻		5	20	—	40	修士 (障害科学) 修士 (学術)	0.92	1.00		平6年 度改組		
			9	—	27	博士 (障害科学) 博士 (学術)	0.70	0.22		平8年 度改組		
保健学専攻		5	32	—	64	修士 (看護学) 修士 (保健学) 修士 (学術)	1.25	1.25		平20 年度改組		
			12	—	36	博士 (看護学) 博士 (保健学) 博士 (学術)	0.91	0.66		平22 年度改組		
公衆衛生学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (公衆衛生学)	1.10	1.00		平27 年 度			
歯学研究科	歯科学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (口腔科学) 修士 (学術)	0.87	0.62		平16 年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町4番1 号	
	歯科学専攻 (博士課程)	4	42	—	168	博士 (歯学) 博士 (学術)	0.99	1.19		平12 年 度改組		
薬学研究科	分子薬科学専攻	5	22	—	44	修士 (薬科学) 修士 (学術)	1.47	1.72		平22 年 度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
			8	—	24		0.70	0.87				
	生命薬科学専攻	5	32	—	64	博士 (薬科学) 博士 (学術)	0.85	0.81				
			10	—	30		0.73	0.80				
医療薬学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士 (薬学) 博士 (学術)	0.50	0.50		平24 年 度			

工 学 研 究 科	機械機能創成専攻	5	42	—	84	修士 (工学) 修士 (学術) 博士 (工学) 博士 (学術)	1.38	1.19	平7年度 改組(平 16年度 改称・ 平28年 度改称)	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番6号	
			10	—	30		1.26	0.30			
	ファインメカニクス専攻	5	45	—	90		0.95	0.84	平15年 度(平 28年 度改 称)		
			11	—	33		0.54	0.18			
	ロボティクス専攻	5	42	—	84		0.86	0.88	平7年 度改 組		
			11	—	33		0.69	0.18			
	航空宇宙工学専攻	5	42	—	84		1.47	1.35	昭33年 度(平8 年度改 称)		
			11	—	33		1.35	1.81			
	量子エネルギー工 学専攻	5	38	—	76		1.07	0.94	平24年 度		
			11	—	33		0.78	0.72			
	電気エネルギーシ ステム専攻	5	32	—	64		1.15	1.00	昭28年 度		
			8	—	24		0.24	0.37			
	通信工学専攻	5	31	—	62		1.41	1.48	昭40年 度		
			8	—	24		0.83	0.50			
電子工学専攻	5	51	—	102	0.94	0.94	平4年 度(平 16年 度改 称)				
		15	—	45	0.26	0.13					
応用物理学専攻	5	32	—	64	0.99	1.18	昭28年 度				
		11	—	33	0.72	0.45					
応用化学専攻	5	26	—	52	0.91	1.07	昭39年 度(昭62 年度・ 平16年 度改 称)				
		8	—	24	0.62	0.75					
化学工学専攻	5	34	—	68	0.92	0.76	昭44年 度(平9 年度・ 平16年 度改 称)				
		7	—	21	0.71	1.00					
バイオ工学専攻	5	19	—	38	1.18	1.10	昭38年 度				
		5	—	15	0.93	1.20					
金属フロンティア 工学専攻	5	26	—	52	1.28	1.42	昭38年 度(平8 年度改 称)				
		7	—	21	1.13	1.28					
知能デバイス材料 学専攻	5	37	—	74	1.02	0.83	平14年 度				
		10	—	30	0.96	0.80					
材料システム工学 専攻	5	30	—	60	1.08	1.10	平15年 度改 組				
		8	—	24	0.83	0.25					
土木工学専攻	5	43	—	86	1.12	1.09	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1				
		12	—	36	1.38	1.33					
都市・建築学専攻	5	45	—	90	1.12	1.04					
		8	—	24	1.62	1.75					
技術社会システム 専攻	5	21	—	42	1.07	0.95					
		13	—	39	0.40	0.38					
農 学 研 究 科	資源生物科学専攻	5	36	—	72	修士 (農学) 修士 (学術) 博士 (農学) 博士 (学術)	1.10	0.91	平15年 度改 組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1	
			13	—	39		0.84	0.23			
	応用生命科学専攻	5	35	—	70		1.05	1.00			
			13	—	39		0.43	0.38			
生物産業創成科学 専攻	5	38	—	76	1.11	0.86					
		11	—	33	0.93	0.27					

国際文化研究科	国際文化研究専攻	5	35	—	70	修士 (国際文化) 修士 (学術) 博士 (国際文化) 博士 (学術)	0.89	0.62		平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区川内41	
			16	—	48		0.81	0.50				
情報科学研究科	情報基礎科学専攻	5	38	—	76	修士 (情報科学) 修士 (学術) 博士 (情報科学) 博士 (学術)	0.93	0.81		平5年度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
			11	—	33		0.48	0.36				
	システム情報科学 専攻	5	37	—	74		1.25	1.16				
			11	—	33		1.29	0.54				
人間社会情報科学 専攻	5	30	—	60	0.54	0.36						
		10	—	30	0.83	0.70						
応用情報科学専攻	5	35	—	70	1.12	0.97	平15年 度					
		10	—	30	0.83	1.00						
生命科学研究科	脳生命統御科学専攻	5	36	—	72	修士 (生命科学) 修士 (学術) 博士 (生命科学) 博士 (学術)	0.69	0.61		平30年 度改組	宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号	
			10	—	30		0.73	1.10				
	生態発生適応科学 専攻	5	35	—	70		0.82	0.88				
			10	—	30		0.80	0.90				
分子化学生物学専攻	5	35	—	70	1.21	1.14						
		10	—	30	0.96	0.90						
環境科学研究科	先進社会環境学専攻	5	40	—	80	修士 (環境科学) 修士 (学術) 博士 (環境科学) 博士 (学術)	1.11	1.05		平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1	
			13	—	39		1.02	0.61				
	先端環境創成学専攻	5	60	—	120		0.88	0.80				
			20	—	60		0.83	0.50				
医工学研究科	医工学専攻	5	39	—	78	修士 (医工学) 修士 (学術) 博士 (医工学) 博士 (学術)	1.07	1.07		平20年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号 宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番6号 宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号	
			12	—	36		1.13	0.66				

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 日本文学専攻(博士後期課程)>

(1) ① 担当教員表

【事前伺い時】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	高橋 章則 (61) <平成31年4月> 博士(社会学)	高橋 章則 (62) <平成31年4月> 博士(社会学)	高橋 章則 (63) <平成31年4月> 博士(社会学)	高橋 章則 (64) <平成31年4月> 博士(社会学)	高橋 章則 (64) <平成31年4月> 博士(社会学)	高橋 章則 (64) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本語研究論文作成法 博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究
専	教授	齋藤 倫明 (63) <平成31年4月> 博士(文学)	齋藤 倫明 (64) <平成31年4月> 博士(文学)				
		博士論文研究	博士論文研究				
兼任	講師	齋藤 倫明 (63) <平成32年4月> 博士(文学)	齋藤 倫明 (64) <令和2年4月> 博士(文学)				
		博士論文研究	博士論文研究				
専	教授	小林 隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	小林 隆 (61) <平成31年4月> 博士(文学)	小林 隆 (62) <平成31年4月> 博士(文学)	小林 隆 (63) <平成31年4月> 博士(文学)	小林 隆 (63) <平成31年4月> 博士(文学)	小林 隆 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 博士論文研究	人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究	人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究	人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	大木 一夫 (52) <平成31年4月> 博士(文学)	大木 一夫 (53) <平成31年4月> 博士(文学)	大木 一夫 (54) <平成31年4月> 博士(文学)	大木 一夫 (55) <平成31年4月> 博士(文学)	大木 一夫 (55) <平成31年4月> 博士(文学)	大木 一夫 (55) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究
専	教授	佐倉 由泰 (56) <平成31年4月> 博士(文学)	佐倉 由泰 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	佐倉 由泰 (58) <平成31年4月> 博士(文学)	佐倉 由泰 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	佐倉 由泰 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	佐倉 由泰 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究	人文社会科学特別科目 博士論文研究	人文社会科学特別科目 博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究
専	教授	柳原 敏昭 (56) <平成31年4月> 博士(文学)	柳原 敏昭 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	柳原 敏昭 (58) <平成31年4月> 博士(文学)	柳原 敏昭 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	柳原 敏昭 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	柳原 敏昭 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究
専	教授	安達 宏昭 (52) <平成31年4月> 博士(文学)	安達 宏昭 (53) <平成31年4月> 博士(文学)	安達 宏昭 (54) <平成31年4月> 博士(文学)	安達 宏昭 (55) <平成31年4月> 博士(文学)	安達 宏昭 (55) <平成31年4月> 博士(文学)	安達 宏昭 (55) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究
専	教授	阿子島 香 (62) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)	阿子島 香 (63) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)	阿子島 香 (64) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)	阿子島 香 (64) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)		
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究		
兼任	講師	阿子島 香 (62) <平成33年4月> P h . D . (アメリカ)	阿子島 香 (63) <令和3年4月> P h . D . (アメリカ)	阿子島 香 (64) <令和3年4月> P h . D . (アメリカ)	阿子島 香 (64) <令和3年4月> P h . D . (アメリカ)		
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究		
専	准教授	田中(仙田)重人 (47) <平成31年4月> 博士(人間科学)	田中(仙田)重人 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)	田中(仙田)重人 (49) <平成31年4月> 博士(人間科学)	田中(仙田)重人 (50) <平成31年4月> 博士(人間科学)	田中(仙田)重人 (50) <平成31年4月> 博士(人間科学)	田中(仙田)重人 (50) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) <平成31年4月> Ph.D. (アメリカ)
		英語発表技能演習 博士論文研究
専	准教授	片岡 龍 (52) <平成31年4月> 修士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	甲田(高橋)直美 (48) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		博士論文研究
専	准教授	小河原 義朗 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	横溝 博 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	堀 裕 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	鹿又 喜隆 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
兼任	教授	木村 敏明 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) <平成31年4月> Ph.D. (アメリカ)
		人文社会科学特別科目 英語発表技能演習 博士論文研究
専	教授	片岡 龍 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	甲田(高橋)直美 (49) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		博士論文研究
専	教授	小河原 義朗 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	横溝 博 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	堀 裕 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	鹿又 喜隆 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	鳥崎 薫 (34) <平成31年4月> Ph.D. (オーストラリア)
		博士論文研究
専	准教授	引野 享輔 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	仁平 政人 (40) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	茂木 謙之介 (35) <令和元年10月> 博士(学術)
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (45) <平成31年4月> Ph.D. (アメリカ)
		人文社会科学特別科目 英語発表技能演習 博士論文研究
専	教授	片岡 龍 (54) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	甲田(高橋)直美 (50) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		博士論文研究
専	教授	小河原 義朗 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	横溝 博 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	堀 裕 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	鹿又 喜隆 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	鳥崎 薫 (35) <平成31年4月> Ph.D. (オーストラリア)
		博士論文研究
専	准教授	引野 享輔 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	仁平 政人 (41) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	茂木 謙之介 (36) <令和元年10月> 博士(学術)
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (46) <平成31年4月> Ph.D. (アメリカ)
		英語発表技能演習 博士論文研究
専	教授	片岡 龍 (55) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	甲田(高橋)直美 (51) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		博士論文研究
専	教授	小河原 義朗 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	横溝 博 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	堀 裕 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	鹿又 喜隆 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	鳥崎 薫 (36) <平成31年4月> Ph.D. (オーストラリア)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	引野 享輔 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	仁平 政人 (42) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	茂木 謙之介 (37) <令和元年10月> 博士(学術)
		博士論文研究
兼任	教授	木村 敏明 (55) <令和3年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	谷山 洋三 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	谷山 洋三 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	谷山 洋三 (48) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	谷山 洋三 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学研究			人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
兼任	准教授	荻原 理 (51) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)	兼任	准教授	荻原 理 (52) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)	兼任	教授	荻原 理 (53) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)	兼任	教授	荻原 理 (54) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		西洋古典文化特論			西洋古典文化特論			西洋古典文化特論			西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 望 (49) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)	兼任	准教授	原 望 (50) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)	兼任	准教授	原 望 (51) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)	兼任	准教授	原 望 (52) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)
		研究倫理特論			研究倫理特論			研究倫理特論			研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	辻本 昌弘 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	辻本 昌弘 (48) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	辻本 昌弘 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論			研究倫理特論			研究倫理特論			研究倫理特論
			兼任	准教授	山田 仁史 (46) <平成31年4月> D r. P h. I l. (ドイツ)	兼任	准教授	山田 仁史 (47) <平成31年4月> D r. P h. I l. (ドイツ)			
					人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目			
			兼任	准教授	大村 哲夫 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	大村 哲夫 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	大村 哲夫 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
					人文社会科学研究 I 人文社会科学研究 II			人文社会科学研究 I 人文社会科学研究 II			人文社会科学研究 I 人文社会科学研究 II
						兼任	准教授	杉本 欣久 (47) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	杉本 欣久 (48) <令和2年4月> 博士(文学)
								人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								高浦 康有 (46) <令和2年4月> 修士(商学)			高浦 康有 (47) <令和2年4月> 修士(商学)
			兼任	准教授	科学技術社会論実践演習			山内 保典 (42) <令和2年4月> 博士(心理学)			山内 保典 (43) <令和2年4月> 博士(心理学)
			兼任	准教授	科学技術社会論実践演習						
											城戸 淳 (48) <令和3年4月> 博士(文学)
											人文社会科学特別科目
											猪股 巖之 (50) <令和3年4月> 博士(教育学)
											キャリア設計演習
			兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (35) <平成31年4月> 博士(文学)			KOPYLOVA OLGA (36) <平成31年4月> 博士(文学)			KOPYLOVA OLGA (37) <平成31年4月> 博士(文学)
			兼任	助教	日本語・日本文化論特論 I 日本語・日本文化論特論 II			日本語・日本文化論特論 I 日本語・日本文化論特論 II			日本語・日本文化論特論 I 日本語・日本文化論特論 II
兼任	講師	Max Phillips (49) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langauges)				兼任	講師	Max Phillips (50) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langauges)			Max Phillips (51) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langauges)
		英語研究論文作成法						英語研究論文作成法 I 英語研究論文作成法 II			英語研究論文作成法 I 英語研究論文作成法 II
			兼任	講師	高橋(安住) 亜希子 (50) <平成31年4月> 博士(文学)			高橋(安住) 亜希子 (51) <平成31年4月> 博士(文学)			高橋(安住) 亜希子 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
			兼任	講師	日本語研究論文作成法 I 日本語研究論文作成法 II			日本語研究論文作成法 I 日本語研究論文作成法 II			日本語研究論文作成法 I 日本語研究論文作成法 II

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・担当教員見直しのため、高橋章則教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実のため、小林隆教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE准教授の授業担当科目を追加。
- ・片岡龍准教授を教授に昇任。
- ・小河原義朗准教授を教授に昇任。教育内容の充実のため、授業担当科目を追加。
- ・横溝博准教授を教授に昇任。
- ・堀裕准教授を教授に昇任。
- ・教育内容の充実のため、龍橋俊光准教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月島崎薫准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月引野亨輔准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月仁平政人准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・令和元年10月茂木謙之介准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・木村敏明教授就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。
- ・教育内容の充実のため、今井勉教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、戸島貴代志教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、長岡龍作教授の授業担当科目を追加。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月三浦秀一教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月沼崎一郎教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月小松文晃教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月佐藤嘉倫教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・平成31年4月山田仁史准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。教育課程の充実のため。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。

【令和2年度】

- ・齋藤倫明兼任講師就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。
- ・担当教員見直しのため、片岡龍教授の授業担当科目を追加。
- ・甲田（高橋）直美准教授を教授に昇任。
- ・担当教員見直しのため、小河原義朗教授の授業担当科目を削除。
- ・鹿又喜隆准教授を教授に昇任。
- ・担当教員見直しのため、今井勉教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、戸島貴代志教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、長岡龍作教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、阿部恒之教授の授業科目を削除。
- ・令和2年4月永井彰教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月直江清隆教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月浜田宏教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月大森美香准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月堀尾喜彦教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月佐藤茂雄教授就任。教育課程の充実のため。
- ・教原理准教授を教授に昇任。
- ・令和2年4月杉本欣久准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月高浦康有准教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月山内保典准教授就任。教育課程の充実のため。

【令和3年度】

- ・担当教員見直しのため、小林隆教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、佐倉由泰教授の授業担当科目を削除。
- ・阿子島香兼任講師就任辞退。「博士論文研究」は他に担当教員がいるため支障なし。
- ・担当教員見直しのため、CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE准教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、鹿又喜隆教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、島崎薫准教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、仁平政人准教授の授業担当科目を追加。
- ・山田仁史准教授退職のため、木村敏明教授に変更。
- ・担当教員見直しのため、沼崎一郎教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、佐藤嘉倫教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、浜田宏教授の授業担当科目を削除。
- ・令和3年4月大河内昌教授就任。担当教員見直しのため。
- ・谷山洋三准教授を教授に昇任。
- ・令和3年4月城戸淳准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和3年4月猪股歳之准教授就任。担当教員見直しのため。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4 名	3 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	9	0	0	15	0	12	7	0	0	19	0
(12)	(8)	(0)	(0)	(20)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
15	0	0				19	0	0			
(20)	(0)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
12	7	0	0	19	0	12	7	0	0	19	0
[ 6 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 4 ]	[ 0 ]	[ 6 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 4 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
19	0	0				19	0	0			
[ 4 ]	[ 0 ]	[ 0 ]				[ 4 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{15} = \boxed{126.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての**専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	齋藤 倫明	必修	博士論文研究	①	R2.3.31付け65歳で定年退職(2)	
2	教授	阿子島 香	必修	博士論文研究	①	R3.3.31付け65歳で定年退職(3)	
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目
		必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」  
「博士論文研究」については、退職した専任教員と同じ研究分野の専任教員が担当しているため、教育上の支障はない。

「学生への周知方法」  
シラバスに授業科目の担当教員を掲載し、学生に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<文学研究科 日本学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

運営会議、コンプライアンス推進委員会

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<運営会議>

木曜日を開催曜日とし、令和2年度は年間22回開催した。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長（国際交流室長を兼ねる）、評議員（評価・研究推進室長を兼ねる）、総務企画室長、学務教育室長、入試渉外室長、社会連携室長、事務長で、各係長が陪席した。

<コンプライアンス推進委員会>

不定期開催としており、令和2年度は開催しなかった。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長、評議員、事務長。

##### c 委員会の審議事項等

<運営会議>

研究科及び学部の運営に関する全般（中期目標・中期計画に関する事柄、各種評価・研究推進に関する事柄を含む）。

<コンプライアンス推進委員会>

公正な研究・教育活動推進のための施策全般（研究倫理遵守・ハラスメント防止に関する教育・FDの実施に関する事柄、教員研修に関する事柄、研究データの保存・管理に関する事柄を含む）。

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

令和2年度は、評価・研究推進室（運営会議）及びコンプライアンス推進委員会の企画のもと、APRIN eラーニングプログラムの受講を促した。

また、学務教育室（運営会議）の企画のもと、「東北大学文学研究科・文学部授業評価アンケートおよびオンライン教育環境アンケート実施報告」を1/14に行った。

本学高度教養教育・学生支援機構・大学教育支援センターが提供する「新任教員プログラム（NFP）」を新任教員に受講させた。また、同センターが提供する「専門性開発プログラム（PDF）」の受講を教員に促した。

##### b 実施方法

APRIN eラーニングプログラムは一般財団法人公正研究推進協会が提供するeラーニング教材を利用して実施した。FDは講義形式（オンライン）で実施し、参加できなかった教員へも録画データの提供を行った。講師は、学務教育室教育改善担当（カリキュラム担当）の城戸准教授が行った。

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

APRIN eラーニングプログラムは随時行っている。全員の受講を促す。また新任教員研修は、NFPに沿って1年間をかけて実施される。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育方法等に関して「東北大学 文学研究科・文学部授業評価アンケートおよびオンライン教育環境アンケート実施報告」で得られた知見を授業改善に反映させるべく、学務教育室（運営会議）を中心に検討を進める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての開講科目で実施。セメスターの終了時期にアンケートを配付し、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教員にフィードバックし、次学期以降の授業の改善に役立てている。評価結果の公開は行っていない。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検・評価としては、東北大学が毎年度実施している部局評価において実施するが、これと並行して評価・研究推進室（運営会議）を中心に、当研究科独自の自己点検評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和3年度中に公表を予定。

b 公表方法

自己点検・評価報告書を作成し公表する予定。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） ]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

大学番号 010

注3

設置年度 令和 元年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前伺い**

東北大学大学院 文学研究科 広域文化学専攻

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人東北大学  
令和3年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部法務・コンプライアンス課

職名・氏名 課長 スガフラ タカシ 菅原 隆

法規係長 ヒロカワ ナオアキ 廣川 尚映

電話番号 022-217-4809

（夜間） 022-217-4809

e-mail hosei@grp.tohoku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

文学研究科

＜広域文化学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人東北大学

## (2) 大学名

東北大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒980-8576  
宮城県仙台市青葉区川内27番1号  
(〒980-8577  
宮城県仙台市青葉区片平2丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オオノ ヒデオ) 大野 英男 (平成30年4月)		
研究科長	(モリモト コウイチ) 森本 浩一 (平成29年4月)	(ヤナギハラ トシアキ) 柳原 敏昭 (令和2年4月)	任期満了のため令和2年4月1日付けで変更(2)
専攻長	(カネコ ヨシアキ) 金子 義明 (平成31年4月)	(ヌマザキ イチロウ) 沼崎 一郎 (令和2年4月)	任期満了のため令和2年4月1日付けで変更(2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学研究科 広域文化学専攻 (博士後期課程) 博士（文学） 博士（学術）	文学関係	3年	12人	-	36人	新規入学者を募集	基礎となる学部等： 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	12 ( - ) [ - ]	-	12 ( - ) [ - ]	-	12 ( - ) [ - ]	-	0.99倍	-	
志願者数	12 ( 0 ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	17 ( 0 ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	19 ( 0 ) [ 8 ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	12 ( 0 ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	17 ( 0 ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	18 ( 0 ) [ 8 ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	9 ( 0 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	14 ( 0 ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	13 ( 0 ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	9 ( 0 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	14 ( 0 ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	13 ( 0 ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	0.75		1.16		1.08				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	9 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	14 [ 3 ] ( - )	- [ - ] ( - )	13 [ 4 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		8 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	14 [ 3 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次			/				7 [ 1 ] ( - )
計	9 [ 1 ] ( - )				22 [ 4 ] ( - )		34 [ 8 ] ( - )

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	9 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	23 人	1 人	令和元年度	1 人	0 人	就職(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	35 人	1 人	令和元年度	1 人	0 人	職業上の都合(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		2 人		2 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{23} = \boxed{4.34} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{35} = \boxed{2.85} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<文学研究科 広域文化学専攻 博士後期課程>

(1) -① 授業科目表

### 【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			1						兼2	
	小計 (1科目)	—	2			1						兼2	
スキル科目	研究倫理特論	1前		2								兼8	
	西洋古典文化特論	1後		2								兼1	
	人文社会科学研究	1前		2			1						
	英語発表技能演習	1後		2								兼1	
	英語研究論文作成法	1前		2								兼1	
	日本語研究論文作成法	1前		2								兼1	
	人文統計基礎演習	1後		2								兼1	
	キャリア設計演習	1後		2			1						
	小計 (8科目)	—		14			1	1					兼13
	学術実践活動	学術発表実習 I	1・2・3通		2								兼1
学術発表実習 II		1・2・3通		2								兼1	
国際活動実習 I		1・2・3通		2								兼1	
国際活動実習 II		1・2・3通		2								兼1	
研究・教育実践活動実習 I		1・2・3通		2								兼1	
研究・教育実践活動実習 II		1・2・3通		2								兼1	
小計 (6科目)		—		12								兼1	
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			14	12					兼1	
	小計 (1科目)	—	8			14	12					兼1	
合計 (16科目)			—	8	28		14	12				兼16	
修了要件及び履修方法													
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。													

### 【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2						5			兼10
	小計 (1科目)	—	2						5			兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前		2								兼8
	西洋古典文化特論	1後		2								兼1
	人文社会科学研究 I	1前		2								兼1
	人文社会科学研究 II	1後		2								兼1
	日本語・日本文化論特論 I	1前		2								兼1
	日本語・日本文化論特論 II	1後		2								兼1
	英語発表技能演習	1後		2								兼1
	英語研究論文作成法 I	1前		2								兼1
	英語研究論文作成法 II	1後		2								兼1
	日本語研究論文作成法 I	1前		2								兼1
	日本語研究論文作成法 II	1後		2								兼1
	人文統計基礎演習	1前		2								兼1
	キャリア設計演習	1後		2								兼1
	科学技術社会論実践演習	1前		2								兼5
小計 (14科目)	—		28									兼20
学術実践活動	学術発表実習 I	1・2・3通		2								兼1
	学術発表実習 II	1・2・3通		2								兼1
	国際活動実習 I	1・2・3通		2								兼1
	国際活動実習 II	1・2・3通		2								兼1
	研究・教育実践活動実習 I	1・2・3通		2								兼1
	研究・教育実践活動実習 II	1・2・3通		2								兼1
	小計 (6科目)	—		12								兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8						21	8		
	小計 (1科目)	—	8						21	8		
合計 (22科目)			—	10	40				21	8		兼30
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			3	2					兼10
	小計 (1科目)	—	2			3	2					兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前	2									兼8
	西洋古典文化特論	1後	2									兼1
	人文社会科学研究 I	1前	2									兼1
	人文社会科学研究 II	1後	2									兼1
	日本語・日本文化論特論 I	1前	2									兼2
	日本語・日本文化論特論 II	1後	2									兼2
	英語発表技能演習	1後	2									兼1
	英語研究論文作成法 I	1前	2									兼1
	英語研究論文作成法 II	1後	2									兼1
	日本語研究論文作成法 I	1前	2									兼1
	日本語研究論文作成法 II	1後	2									兼1
	人文統計基礎演習	1前	2									兼1
	キャリア設計演習	1後	2			1						
小計 (13科目)	—	—	26		1							兼14
学術実践活動	学術発表実習 I	1・2・3通	2									兼1
	学術発表実習 II	1・2・3通	2									兼1
	国際活動実習 I	1・2・3通	2									兼1
	国際活動実習 II	1・2・3通	2									兼1
	研究・教育実践活動実習 I	1・2・3通	2									兼1
	研究・教育実践活動実習 II	1・2・3通	2									兼1
小計 (6科目)	—	—	12									兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			16	12					兼1
	小計 (1科目)	—	8			16	12					兼1
合計 (21科目)			—	10	38		16	12				兼21
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動（選択必修）2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は毎学期2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			3	2					兼10
	小計 (1科目)	—	2			3	2					兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前	2									兼8
	西洋古典文化特論	1後	2									兼1
	人文社会科学研究 I	1前	2									兼1
	人文社会科学研究 II	1後	2									兼1
	日本語・日本文化論特論 I	1前	2									兼2
	日本語・日本文化論特論 II	1後	2									兼2
	英語発表技能演習	1後	2									兼1
	英語研究論文作成法 I	1前	2									兼1
	英語研究論文作成法 II	1後	2									兼1
	日本語研究論文作成法 I	1前	2									兼1
	日本語研究論文作成法 II	1後	2									兼1
	人文統計基礎演習	1前	2									兼1
	キャリア設計演習	1後	2									兼1
	科学技術社会論実践演習	1前	2									兼5
小計 (14科目)	—	—	28									兼20
学術実践活動	学術発表実習 I	1・2・3通	2									兼1
	学術発表実習 II	1・2・3通	2									兼1
	国際活動実習 I	1・2・3通	2									兼1
	国際活動実習 II	1・2・3通	2									兼1
	研究・教育実践活動実習 I	1・2・3通	2									兼1
	研究・教育実践活動実習 II	1・2・3通	2									兼1
小計 (6科目)	—	—	12									兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			18	12					兼1
	小計 (1科目)	—	8			18	12					兼1
合計 (22科目)			—	10	40		18	12				兼28
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動（選択必修）2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【令和元年度】**

・教育内容の充実のため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授1、兼2」から「教授3、准教授2、兼10」に変更。  
 ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究」から「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。  
 ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。  
 ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。  
 ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法」から「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。  
 ・教育課程の充実のため、授業科目名を「日本語研究論文作成法」から「日本語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「日本研究論文作成法Ⅱ」を新設。  
 ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。  
 ・教授1名及び准教授1名採用並びに准教授から教授への昇任のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授14、准教授12」から「教授16、准教授12」に変更

**【令和2年度】**

・担当教員見直しのため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」及び「日本語・文化論特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。  
 ・担当教員見直しのため、「キャリア設計演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。  
 ・教育課程の充実のため、「科学技術社会論実践演習」を新設。  
 ・准教授から教授への昇任2名、准教授2名採用及び兼任講師1名就任辞退のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授16、准教授12、兼1」から「教授18、准教授12」に変更。

**【令和3年度】**

・准教授1名退職、准教授から教授への昇任及び担当教員見直しのため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、兼10」から「教授5、兼10」に変更。  
 ・准教授1名退職及び准教授から教授への昇任3名のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授18、准教授12」から「教授21、准教授8」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2科目	14科目	0科目	16科目	2科目 [ 0 ]	20科目 [ 6 ]	0科目 [ 0 ]	22科目 [ 6 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	21,912,174㎡ <del>21,917,049㎡</del> 21,915,365㎡	0㎡	0㎡	21,912,174㎡ <del>21,917,049㎡</del> 21,915,365㎡	増用地減少等のため(3) 購入のため(2)			
	運 動 場 用 地	132,573㎡	0㎡	0㎡	132,573㎡				
	小 計	22,044,747㎡ <del>22,049,622㎡</del> 22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,044,747㎡ <del>22,049,622㎡</del> 22,047,938㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	22,044,747㎡ <del>22,049,622㎡</del> 22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,044,747㎡ <del>22,049,622㎡</del> 22,047,938㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		1,123,168㎡ <del>1,119,573㎡</del> 1,121,513㎡ (1,121,513㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	1,123,168㎡ <del>1,119,573㎡</del> 1,121,513㎡ (1,121,513㎡)	新築、増築等のため(3) 一部取り壊しのため(2)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	12室	16室	13室	1室 (補助職員3人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	文学研究科 広域文化学専攻			29 30 29	室	専任教員退職のため(3) 専任教員採用のため(2)			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能なため、 大学全体の数	
	文学研究科 広域文化学専攻	4,181,137 (1,972,543) <del>4,180,950 (1,974,780)</del> 4,168,468 (1,974,876)	86,703 (44,235) <del>86,599 (42,652)</del> 86,198 (42,422)	15,412 (13,916) <del>13,543 (13,528)</del> 13,287 (13,272)	7,454 <del>7,429</del> 8,242	48,221 <del>46,462</del> 45,198	2,432,338 <del>2,432,337</del> 2,432,339	図書等購入のため(3) 図書等購入及び視聴覚資料等 廃棄のため(2)	
		(4,181,137 (1,972,543)) <del>(4,180,950 (1,974,780))</del> <del>(4,168,468 (1,974,876))</del>	86,703 (44,235) <del>86,599 (42,652)</del> <del>86,198 (42,422)</del>	15,412 (13,916) <del>(13,543 (13,528))</del> <del>(13,287 (13,272))</del>	7,454 <del>(7,429)</del> <del>(8,242)</del>	48,221 <del>(46,462)</del> <del>(45,198)</del>	2,432,338 <del>(2,432,337)</del> <del>(2,432,339)</del>		
	計	4,181,137 (1,972,543) <del>4,180,950 (1,974,780)</del> 4,168,468 (1,974,876)	86,703 (44,235) <del>86,599 (42,652)</del> 86,198 (42,422)	15,412 (13,916) <del>13,543 (13,528)</del> 13,287 (13,272)	7,454 <del>7,429</del> 8,242	48,221 <del>46,462</del> 45,198	2,432,338 <del>2,432,337</del> 2,432,339		
		(4,181,137 (1,972,543)) <del>(4,180,950 (1,974,780))</del> <del>(4,168,468 (1,974,876))</del>	86,703 (44,235) <del>86,599 (42,652)</del> <del>86,198 (42,422)</del>	15,412 (13,916) <del>(13,543 (13,528))</del> <del>(13,287 (13,272))</del>	7,454 <del>(7,429)</del> <del>(8,242)</del>	48,221 <del>(46,462)</del> <del>(45,198)</del>	2,432,338 <del>(2,432,337)</del> <del>(2,432,339)</del>		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	41,253㎡ <del>37,050㎡</del> 45,481㎡	2,177席 <del>2,554席</del> 2,885席		4,350,944冊 <del>3,914,722冊</del> 4,328,122冊		改修工事の完了及び新型コロナウイルス感染症予防対策に伴う座席数の縮小のため(3) 一部改修中のため(2)			
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体			
	7,064㎡ <del>7,024㎡</del>	武 道 場				増築のため(3)			
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設 備 購 入 費	千円	千円	千円	
		第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		東北大学				学生募集停止学科数		0		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		0		備考
既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地			
		年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
文学部	人文社会学科	4	210	—	840	学士（文学）	1.05	1.07		平9年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号			
教育学部	教育科学科	4	70	—	280	学士（教育学）	1.05	1.05		平10年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号			
法学部	法学科	4	160	—	640	学士（法学）	1.04	1.03		昭24年度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号			
経済学部	経済学科	4	130	3年次10	540	学士（経済学）	1.03	1.01		昭24年度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号			
	経営学科	4	130	3年次10	540					昭43年度				
	計		260	20	1,080									
理学部	数学科	4	45	—	180	学士（理学）	0.98	1.00		昭24年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号			
	物理学科	4	78	—	312		1.00	1.00		平6年度改組・統合				
	宇宙地球物理学科	4	41	—	164					平4年度改組				
	化学科	4	70	—	280		1.07	1.01		平7年度改組・統合				
	地圏環境科学科	4	30	—	120					平4年度改組				
	地球惑星物質科学科	4	20	—	80		1.01	1.02		平4年度改組（平20年度改称）				
	生物学科	4	40	—	160		1.04	1.02		昭24年度				
	計		324	—	1,296		1.01	1.00						
医学部	医学科	6	116	—	772	学士（医学）	1.00	1.00	令和2	昭24年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	令和2年度定員変更（11）		
	保健学科	4	144	—	576	学士（看護学） 学士（保健学）	1.00	1.02		平16年度改組				
	計		260	—	1,348	1.00	1.01							
歯学部	歯学科	6	53	—	318	学士（歯学）	1.00	1.00		昭40年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号			
薬学部	創薬科学科	4	60	—	240	学士（創薬科学）	1.06	1.05		平18年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号			
	薬学科	6	20	—	120	学士（薬学）	1.06	1.05						
	計		80	—	360	1.06	1.05							

工学部	機械知能・航空工学科	4	234	—	936	学士 (工学)	1.00	0.95		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号
	電気情報物理工学科	4	243	—	972		1.02	1.03		平16年度改組 (平19年度・平27年度改称)	
	化学・バイオ工学科	4	113	—	452		1.00	1.02		平16年度改組	
	材料科学総合学科	4	113	—	452		1.02	1.03			
	建築・社会環境工学科	4	107	—	428		0.99	0.98			
	計		810	—	3,240		1.01	1.00			
農学部	生物生産科学科	4	90	—	360	学士 (農学)	1.03	0.98		平4年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
	応用生物化学科	4	60	—	240						
	計		150	—	600						

※ 複数の学科を有する学部の学生募集は、経済学部、薬学部及び農学部にあつては学部一括で、理学部にあつては1又は複数の学科毎にそれぞれ行い、学生の所属学科は、第1年次修了時、第2年次又は第3年次に決定する。

文学研究科	日本文学専攻	5	29	—	58	修士 (文学) 修士 (学術) 博士 (文学) 博士 (学術)	1.27	1.31	令和元	令和年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	学生数は、上段が前期課程で、下段が後期課程である。
			14	—	42		1.25	1.14				
	広域文化学専攻	5	29	—	58		0.73	0.79	令和元			
			12	—	36		0.99	1.08				
総合人間学専攻	5	31	—	62	1.12	1.16	令和元					
		12	—	36	1.16	1.33						
教育学研究科	総合教育科学専攻	5	45	—	90	修士 (教育学) 修士 (教育情報学) 博士 (教育学) 博士 (教育情報学)	0.94	0.97		平30年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
			15	—	45		0.86	0.80				
法学研究科	法政理論研究専攻	5	10	—	20	修士 (法学) 修士 (学術) 博士 (法学) 博士 (学術)	0.90	0.30		平12年度改組 (平18年度改称)	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
			12	—	36		0.71	0.41				
	総合法制専攻 (法科大学院の課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.95	0.98		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号	
	公共法政策専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	公共法政策修士 (専門職)	0.98	0.96				
経済学研究科	経済経営学専攻	5	60	—	120	修士 (経済学) 修士 (経営学) 修士 (学術) 博士 (経済学) 博士 (経営学) 博士 (学術)	0.86	0.60		平17年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	令和2年度定員変更(△6)
			14	—	48		0.67	0.28				
	会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	—	80	会計修士 (専門職)	0.89	0.87		平17年度		

理学研究科	数学専攻	5	38 18	— —	76 54	修士 (理学) 修士 (学術) 博士 (理学) 博士 (学術)	0.98 0.62	1.02 0.66		平7年度 改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
	物理学専攻	5	91 46	— —	182 138		0.81 0.55	0.76 0.41		平6年度 改組		
	天文学専攻	5	9 4	— —	18 12		1.55 0.75	1.44 0.75		平6年度 改組		
	地球物理学専攻	5	26 13	— —	52 39		1.01 0.58	1.03 0.46		平7年度 改組		
	化学専攻	5	66 33	— —	132 99		1.08 0.64	0.92 0.72		平7年度 改組		
	地学専攻	5	32 16	— —	64 48		1.14 0.52	1.00 0.50		平6年度 改組		
	医学系研究科	医科学専攻 (修士課程)	2	30	—		60	修士 (医科学) 修士 (学術)	1.19	1.16		
医科学専攻 (博士課程)		4	130	—	520	博士 (医学) 博士 (学術)	1.08	0.93		平9年度 改組		
障害科学専攻		5	20	—	40	修士 (障害科学) 修士 (学術) 博士 (障害科学)	0.92	1.00		平6年度 改組		
			9	—	27	博士 (学術)	0.70	0.22		平8年度 改組		
保健学専攻		5	32	—	64	修士 (看護学) 修士 (保健学) 修士 (学術) 博士 (看護学)	1.25	1.25		平20年 度改組		
			12	—	36	博士 (保健学) 博士 (学術)	0.91	0.66		平22年 度改組		
公衆衛生学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (公衆衛生学)	1.10	1.00		平27年 度			
歯学研究科	歯科学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (口腔科学) 修士 (学術)	0.87	0.62		平16年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町4番1 号	
	歯科学専攻 (博士課程)	4	42	—	168	博士 (歯学) 博士 (学術)	0.99	1.19		平12年 度改組		
薬学研究科	分子薬科学専攻	5	22	—	44	修士 (薬科学) 修士 (学術) 博士 (薬科学)	1.47	1.72		平22年 度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
			8	—	24		博士 (学術)	0.70				
	生命薬科学専攻	5	32	—	64	博士 (薬科学) 博士 (学術)	0.85	0.81		平24年 度		
			10	—	30		博士 (学術)	0.73				
医療薬学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士 (薬学) 博士 (学術)	0.50	0.50		平24年 度			

工 学 研 究 科	機械機能創成専攻	5	42	—	84	修士 (工学) 修士 (学術) 博士 (工学) 博士 (学術)	1.38	1.19	平7年度 改組(平 16年度 改称・ 平28年 度改称)	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番6号
			10	—	30		1.26	0.30		
	ファインメカニクス専攻	5	45	—	90		0.95	0.84	平15年 度(平 28年 度改 称)	
			11	—	33		0.54	0.18		
	ロボティクス専攻	5	42	—	84		0.86	0.88	平7年 度改 組	
			11	—	33		0.69	0.18		
	航空宇宙工学専攻	5	42	—	84		1.47	1.35	昭33年 度(平8 年度改 称)	
			11	—	33		1.35	1.81		
	量子エネルギー工 学専攻	5	38	—	76		1.07	0.94	平24年 度	
			11	—	33		0.78	0.72		
	電気エネルギーシ ステム専攻	5	32	—	64		1.15	1.00	昭28年 度	
			8	—	24		0.24	0.37		
	通信工学専攻	5	31	—	62		1.41	1.48	昭40年 度	
			8	—	24		0.83	0.50		
電子工学専攻	5	51	—	102	0.94	0.94	平4年 度(平 16年 度改 称)			
		15	—	45	0.26	0.13				
応用物理学専攻	5	32	—	64	0.99	1.18	昭28年 度			
		11	—	33	0.72	0.45				
応用化学専攻	5	26	—	52	0.91	1.07	昭40年 度			
		8	—	24	0.62	0.75				
化学工学専攻	5	34	—	68	0.92	0.76	平4年 度(平 16年 度改 称)			
		7	—	21	0.71	1.00				
バイオ工学専攻	5	19	—	38	1.18	1.10	昭28年 度(平 16年 度改 称)			
		5	—	15	0.93	1.20				
金属フロンティア 工学専攻	5	26	—	52	1.28	1.42	昭39年 度(昭 62年 度・ 平16 年度 改称)			
		7	—	21	1.13	1.28				
知能デバイス材料 学専攻	5	37	—	74	1.02	0.83	昭44年 度(平 9年 度・ 平16 年度 改称)			
		10	—	30	0.96	0.80				
材料システム工学 専攻	5	30	—	60	1.08	1.10	昭38年 度			
		8	—	24	0.83	0.25				
土木工学専攻	5	43	—	86	1.12	1.09	昭38年 度(平 8年 度改 称)			
		12	—	36	1.38	1.33				
都市・建築学専攻	5	45	—	90	1.12	1.04	平14年 度			
		8	—	24	1.62	1.75				
技術社会システム 専攻	5	21	—	42	1.07	0.95	平15年 度改 組			
		13	—	39	0.40	0.38				
農 学 研 究 科	資源生物科学専攻	5	36	—	72	修士 (農学) 修士 (学術) 博士 (農学) 博士 (学術)	1.10	0.91	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1	
			13	—	39		0.84	0.23		
	応用生命科学専攻	5	35	—	70		1.05	1.00		
13			—	39	0.43	0.38				
生物産業創成科学 専攻	5	38	—	76	1.11	0.86				
		11	—	33	0.93	0.27				

国際文化研究科	国際文化研究専攻	5	35	—	70	修士 (国際文化) 修士 (学術) 博士 (国際文化) 博士 (学術)	0.89	0.62	平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区川内41
			16	—	48		0.81	0.50		
情報科学研究科	情報基礎科学専攻	5	38	—	76	修士 (情報科学) 修士 (学術) 博士 (情報科学) 博士 (学術)	0.93	0.81	平5年度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号
			11	—	33		0.48	0.36		
	システム情報科学 専攻	5	37	—	74		1.25	1.16		
			11	—	33		1.29	0.54		
人間社会情報科学 専攻	5	30	—	60	0.54	0.36				
		10	—	30	0.83	0.70				
応用情報科学専攻	5	35	—	70	1.12	0.97	平15年 度			
		10	—	30	0.83	1.00				
生命科学研究科	脳生命統御科学専攻	5	36	—	72	修士 (生命科学) 修士 (学術) 博士 (生命科学) 博士 (学術)	0.69	0.61	平30年 度改組	宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号
			10	—	30		0.73	1.10		
	生態発生適応科学 専攻	5	35	—	70		0.82	0.88		
10			—	30	0.80	0.90				
分子化学生物学専攻	5	35	—	70	1.21	1.14				
		10	—	30	0.96	0.90				
環境科学研究科	先進社会環境学専攻	5	40	—	80	修士 (環境科学) 修士 (学術) 博士 (環境科学) 博士 (学術)	1.11	1.05	平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1
			13	—	39		1.02	0.61		
先端環境創成学専攻	5	60	—	120	0.88	0.80				
		20	—	60	0.83	0.50				
医工学研究科	医工学専攻	5	39	—	78	修士 (医工学) 修士 (学術) 博士 (医工学) 博士 (学術)	1.07	1.07	平20年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号 宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番6号 宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号
			12	—	36		1.13	0.66		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 広域文化学専攻 博士後期課程>

(1) -① 担当教員表

【事前伺い時】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	沼崎 一郎 (59) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)	沼崎 一郎 (60) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)	沼崎 一郎 (61) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)	沼崎 一郎 (62) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)	専	教授	沼崎 一郎 (62) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		博士論文研究	人文社会科学特別科目 博士論文研究	人文社会科学特別科目 博士論文研究	博士論文研究			博士論文研究
専	教授	木村 敏明 (52) <平成31年4月> 博士 (文学)	木村 敏明 (53) <平成31年4月> 博士 (文学)	木村 敏明 (54) <平成31年4月> 博士 (文学)	木村 敏明 (55) <平成31年4月> 博士 (文学)	専	教授	木村 敏明 (55) <平成31年4月> 博士 (文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	人文社会科学特別科目 博士論文研究			博士論文研究
専	教授	桜井 宗信 (57) <平成31年4月> 博士 (文学)	桜井 宗信 (58) <平成31年4月> 博士 (文学)	桜井 宗信 (59) <平成31年4月> 博士 (文学)	桜井 宗信 (60) <平成31年4月> 博士 (文学)	専	教授	桜井 宗信 (60) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究			博士論文研究
専	教授	三浦 秀一 (60) <平成31年4月> 博士 (文学)	三浦 秀一 (61) <平成31年4月> 博士 (文学)	三浦 秀一 (62) <平成31年4月> 博士 (文学)	三浦 秀一 (63) <平成31年4月> 博士 (文学)	専	教授	三浦 秀一 (63) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究	人文社会科学特別科目 博士論文研究	人文社会科学特別科目 博士論文研究	人文社会科学特別科目 博士論文研究			博士論文研究
専	教授	川合 安 (60) <平成31年4月> 博士 (文学)	川合 安 (61) <平成31年4月> 博士 (文学)	川合 安 (62) <平成31年4月> 博士 (文学)	川合 安 (63) <平成31年4月> 博士 (文学)	専	教授	川合 安 (63) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究			博士論文研究
専	教授	大河内 昌 (58) <平成31年4月> 博士 (文学)	大河内 昌 (59) <平成31年4月> 博士 (文学)	大河内 昌 (60) <平成31年4月> 博士 (文学)	大河内 昌 (61) <平成31年4月> 博士 (文学)	専	教授	大河内 昌 (61) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	人文社会科学特別科目 博士論文研究			博士論文研究
専	教授	金子 義明 (61) <平成31年4月> 博士 (文学)	金子 義明 (62) <平成31年4月> 博士 (文学)	金子 義明 (63) <平成31年4月> 博士 (文学)	金子 義明 (64) <平成31年4月> 博士 (文学)	専	教授	金子 義明 (64) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究			博士論文研究
専	教授	島 越郎 (50) <平成31年4月> 博士 (文学)	島 越郎 (51) <平成31年4月> 博士 (文学)	島 越郎 (52) <平成31年4月> 博士 (文学)	島 越郎 (53) <平成31年4月> 博士 (文学)	専	教授	島 越郎 (53) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究			博士論文研究
専	教授	森本 浩一 (61) <平成31年4月> 文学修士	森本 浩一 (62) <平成31年4月> 文学修士	森本 浩一 (63) <平成31年4月> 文学修士	森本 浩一 (64) <平成31年4月> 文学修士	専	教授	森本 浩一 (64) <平成31年4月> 文学修士
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究			博士論文研究
専	教授	嶋崎 啓 (52) <平成31年4月> 博士 (文学)	嶋崎 啓 (53) <平成31年4月> 博士 (文学)	嶋崎 啓 (54) <平成31年4月> 博士 (文学)	嶋崎 啓 (55) <平成31年4月> 博士 (文学)	専	教授	嶋崎 啓 (55) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究			博士論文研究
専	教授	NARROG HEIKO (52) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)	NARROG HEIKO (53) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)	NARROG HEIKO (54) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)	NARROG HEIKO (55) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)	専	教授	NARROG HEIKO (55) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究			博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	阿部 宏 (59) <平成31年4月> 博士(情報科学)	専	教授	阿部 宏 (60) <平成31年4月> 博士(情報科学)	専	教授	阿部 宏 (61) <平成31年4月> 博士(情報科学)
		博士論文研究			博士論文研究			博士論文研究
専	教授	今井 勉 (56) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	今井 勉 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	今井 勉 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		キャリア設計演習 博士論文研究			人文社会科学特別科目 キャリア設計演習 博士論文研究			人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	有光 秀行 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	有光 秀行 (58) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	有光 秀行 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究			博士論文研究
			専	教授	高橋 原 (49) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	高橋 原 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
					博士論文研究			博士論文研究
専	准教授	川口(一条) 幸大 (42) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	川口(一条) 幸大 (43) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	川口(一条) 幸大 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究			博士論文研究
専	准教授	山田 仁史 (45) <平成31年4月> Dr.Phil.(ドイツ)	専	准教授	山田 仁史 (46) <平成31年4月> Dr.Phil.(ドイツ)	専	准教授	山田 仁史 (47) <平成31年4月> Dr.Phil.(ドイツ)
		博士論文研究			人文社会科学特別科目 博士論文研究			人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	谷山 洋三 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	谷山 洋三 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	谷山 洋三 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学研究 博士論文研究			人文社会科学特別科目 博士論文研究			人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	齋藤 智寛 (43) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	齋藤 智寛 (44) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	齋藤 智寛 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究			博士論文研究
専	准教授	土屋 育子 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	土屋 育子 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	土屋 育子 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究			博士論文研究
専	准教授	矢田 尚子 (51) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	矢田 尚子 (52) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	矢田 尚子 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究			博士論文研究
専	准教授	馬 暁地 (63) <平成31年4月> 修士(文学)	専	准教授	馬 暁地 (64) <平成31年4月> 修士(文学)			
		博士論文研究			博士論文研究			
兼任	講師	馬 暁地 (63) <平成32年4月> 修士(文学)	兼任	講師	馬 暁地 (64) <令和2年4月> 修士(文学)			
		博士論文研究			博士論文研究			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大野 晃嗣 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	大貫 隆史 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (47) <平成31年4月> P h. D. (イギリス)
		博士論文研究
専	准教授	黒岩 卓 (42) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	MEVEL YANN ERIC (49) <平成31年4月> Doctorat (フランス)
		博士論文研究
専	准教授	浅岡 善治 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
兼任	教授	高橋 章則 (61) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本語研究論文作成法
兼任	教授	小林 隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大野 晃嗣 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	大貫 隆史 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (48) <平成31年4月> P h. D. (イギリス)
		博士論文研究
専	准教授	黒岩 卓 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	MEVEL YANN ERIC (50) <平成31年4月> Doctorat (フランス)
		博士論文研究
専	准教授	浅岡 善治 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	西村 直子 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
兼任	教授	小林 隆 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 晃嗣 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	大貫 隆史 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (49) <平成31年4月> P h. D. (イギリス)
		博士論文研究
専	准教授	黒岩 卓 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	MEVEL YANN ERIC (51) <平成31年4月> Doctorat (フランス)
		博士論文研究
専	准教授	浅岡 善治 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	西村 直子 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	趙智 都乃 (41) <令和2年4月> 博士(学術)
		博士論文研究
専	准教授	張 佩茹 (43) <令和2年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
兼任	教授	小林 隆 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 晃嗣 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	大貫 隆史 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (50) <平成31年4月> P h. D. (イギリス)
		博士論文研究
専	准教授	黒岩 卓 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	MEVEL YANN ERIC (52) <平成31年4月> Doctorat (フランス)
		博士論文研究
専	准教授	浅岡 善治 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	西村 直子 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	趙智 都乃 (42) <令和2年4月> 博士(学術)
		博士論文研究
専	准教授	張 佩茹 (44) <令和2年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
兼任	教授	小林 隆 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論
兼任	教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	戸島 貴代志 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	戸島 貴代志 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	戸島 貴代志 (61) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	戸島 貴代志 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論			人文社会科学特別科目 研究倫理特論			研究倫理特論			研究倫理特論
兼任	教授	長岡 龍作 (58) <平成31年4月> 文学修士	兼任	教授	長岡 龍作 (59) <平成31年4月> 文学修士						
		学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ			人文社会科学特別科目 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ						
兼任	教授	阿部 恒之 (56) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	阿部 恒之 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	阿部 恒之 (58) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	阿部 恒之 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論			人文社会科学特別科目 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ 研究倫理特論			人文社会科学特別科目 研究倫理特論			人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)	兼任	教授	坂井 信之 (49) <平成31年4月> 博士(人間科学)	兼任	教授	坂井 信之 (50) <平成31年4月> 博士(人間科学)	兼任	教授	坂井 信之 (51) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		研究倫理特論			研究倫理特論			研究倫理特論			研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (53) <平成31年4月> P h . D . ( ア メ リ カ )	兼任	教授	小泉 政利 (54) <平成31年4月> P h . D . ( ア メ リ カ )	兼任	教授	小泉 政利 (55) <平成31年4月> P h . D . ( ア メ リ カ )	兼任	教授	小泉 政利 (56) <平成31年4月> P h . D . ( ア メ リ カ )
		研究倫理特論			研究倫理特論			研究倫理特論			研究倫理特論
兼任	教授	木村 邦博 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	木村 邦博 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	木村 邦博 (61) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	木村 邦博 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 人文統計基礎演習			研究倫理特論 人文統計基礎演習			研究倫理特論 人文統計基礎演習			研究倫理特論 人文統計基礎演習
			兼任	教授	小河原 義朝 (50) <平成31年4月> 博士(文学)						
					人文社会科学特別科目						
			兼任	教授	小松 文晃 (50) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	小松 文晃 (51) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	小松 文晃 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
					人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
			兼任	教授	佐藤 嘉倫 (61) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	佐藤 嘉倫 (62) <平成31年4月> 博士(文学)			
					人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目			
						兼任	教授	片岡 龍 (54) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	教授	片岡 龍 (55) <令和2年4月> 博士(文学)
								人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
						兼任	教授	永井 彰 (60) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	教授	永井 彰 (61) <令和2年4月> 博士(文学)
								学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ			学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ





(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、沼崎一郎教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、木村敏明教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実のため、三浦秀一教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、今井勉教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月高橋原教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、山田仁史准教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実及び担当教員の見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・土屋育子准教授を教授に昇任。
- ・平成31年4月西村直子准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、小林隆教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、戸島貴代志教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、長岡龍作教授の授業担当科目を追加。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月小河原義朗教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月小松丈晃教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月佐藤嘉倫教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE准教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月籠橋俊光准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。教育課程の充実のため。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月高橋(安任) 亜希子講師就任。高橋卓則教授就任辞退及び教育課程の充実のため。

【令和2年度】

- ・担当教員見直しのため、今井勉教授の授業担当科目を削除。
- ・馬場地兼任講師就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。
- ・大野晃嗣准教授を教授に昇任。
- ・MEVEL YANN ERIC准教授を教授に昇任。
- ・令和2年4月越智郁乃准教授就任。教育内容の充実のため。
- ・令和2年4月張佩茹准教授就任。教育内容の充実のため。
- ・担当教員見直しのため、戸島貴代志教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、長岡龍作教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、阿部恒之教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、小河原義朗教授の授業担当科目を削除。
- ・令和2年4月片岡龍教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月永井彰教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月大森美香教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月浜田宏教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月直江清隆教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月堀尾喜彦教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月佐藤茂雄教授就任。教育課程の充実のため。
- ・荻原理准教授を教授に昇任。
- ・令和2年4月杉本欣久准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月高浦康有准教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月山内保典准教授就任。教育課程の充実のため。

【令和3年度】

- ・担当教員見直しのため、沼崎一郎教授の授業担当科目を削除。
- ・山田仁史准教授退職のため、木村敏明教授に変更。「博士論文研究」は他に担当教員がいるため支障なし。
- ・担当教員見直しのため、大河内昌教授の授業担当科目を追加。
- ・川口(一条) 幸大准教授を教授に昇任。
- ・谷山洋三准教授を教授に昇任。
- ・齋藤智寛准教授を教授に昇任。
- ・担当教員見直しのため、小林隆教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、佐倉由泰教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、佐藤嘉倫教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、浜田宏教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE准教授の授業担当科目を削除。
- ・令和3年4月鹿又善隆教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和3年4月仁平政人准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和3年4月島崎薫准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和3年4月城戸淳准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和3年4月猪股歳之准教授就任。担当教員見直しのため。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
3	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
14	12	0	0	26	0	21	8	0	0	29	0
(16)	(13)	0	0	(29)	0						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
26	0	0				29	0	0			
(29)	0	0									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
21	8	0	0	29	0	21	8	0	0	29	0
[ 7 ]	[ Δ4 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 7 ]	[ Δ4 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 0 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
29	0	0				29	0	0			
[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]				[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{29}{26} = \boxed{111.53} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{29} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	山田 仁史	R3.1	必修	人文社会科学特別科目	①	R3.1.15付け死亡のため辞任(3)			
				必修	博士論文研究	①				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{26} = 3.84 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	准教授	馬 暁地	必修	博士論文研究	①	R2.3.31付け65歳で定年退職(2)	
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	1 科目	計	1 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 「人文社会科学特別科目」及び「博士論文研究」については、退職した専任教員と同じ研究分野の専任教員が担当しているため、教育上の支障はない。</p> <p>「学生への周知方法」 シラバスに授業科目の担当教員を掲載し、学生に周知している。</p>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<文学研究科 広域文化学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

運営会議、コンプライアンス推進委員会

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<運営会議>

木曜日を開催曜日とし、令和2年度は年間22回開催した。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長（国際交流室長を兼ねる）、評議員（評価・研究推進室長を兼ねる）、総務企画室長、学務教育室長、入試渉外室長、社会連携室長、事務長で、各係長が陪席した。

<コンプライアンス推進委員会>

不定期開催としており、令和2年度は開催しなかった。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長、評議員、事務長。

##### c 委員会の審議事項等

<運営会議>

研究科及び学部の運営に関する全般（中期目標・中期計画に関する事柄、各種評価・研究推進に関する事柄を含む）。

<コンプライアンス推進委員会>

公正な研究・教育活動推進のための施策全般（研究倫理遵守・ハラスメント防止に関する教育・FDの実施に関する事柄、教員研修に関する事柄、研究データの保存・管理に関する事柄を含む）。

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

令和2年度は、評価・研究推進室（運営会議）及びコンプライアンス推進委員会の企画のもと、APRIN eラーニングプログラムの受講を促した。

また、学務教育室（運営会議）の企画のもと、「東北大学文学研究科・文学部授業評価アンケートおよびオンライン教育環境アンケート実施報告」を1/14に行った。

本学高度教養教育・学生支援機構・大学教育支援センターが提供する「新任教員プログラム（NFP）」を新任教員に受講させた。また、同センターが提供する「専門性開発プログラム（PDF）」の受講を教員に促した。

##### b 実施方法

APRIN eラーニングプログラムは一般財団法人公正研究推進協会が提供するeラーニング教材を利用して実施した。FDは講義形式（オンライン）で実施し、参加できなかった教員へも録画データの提供を行った。講師は、学務教育室教育改善担当（カリキュラム担当）の城戸准教授が行った。

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

APRIN eラーニングプログラムは随時行っている。全員の受講を促す。また新任教員研修は、NFPに沿って1年間をかけて実施される。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育方法等に関して「東北大学 文学研究科・文学部授業評価アンケートおよびオンライン教育環境アンケート実施報告」で得られた知見を授業改善に反映させるべく、学務教育室（運営会議）を中心に検討を進める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての開講科目で実施。セメスターの終了時期にアンケートを配付し、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教員にフィードバックし、次学期以降の授業の改善に役立てている。評価結果の公開は行っていない。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検・評価としては、東北大学が毎年度実施している部局評価において実施するが、これと並行して評価・研究推進室（運営会議）を中心に、当研究科独自の自己点検評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和3年度中に公表を予定。

b 公表方法

自己点検・評価報告書を作成し公表する予定。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

大学番号 010

注3

設置年度 令和 元年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前伺い**

東北大学大学院 文学研究科 総合人間学専攻

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人東北大学  
令和3年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部法務・コンプライアンス課

職名・氏名 課長 スガフラ タカン 菅原 隆

法規係長 ヒロカワ ナオアキ 廣川 尚映

電話番号 022-217-4809

（夜間） 022-217-4809

e-mail hosei@grp.tohoku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

文学研究科

＜総合人間学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人東北大学

## (2) 大学名

東北大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒980-8576  
宮城県仙台市青葉区川内27番1号  
(〒980-8577  
宮城県仙台市青葉区片平2丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オオノ ヒデオ) 大野 英男 (平成30年4月)		
研究科長	(モリモト コウイチ) 森本 浩一 (平成29年4月)	(ヤナギハラ トシアキ) 柳原 敏昭 (令和2年4月)	任期満了のため令和2年4月1日付けで変更(2)
専攻長	(ナガオカ リュウサク) 長岡 龍作 (平成31年4月)	(ナガイ アキラ) 永井 彰 (令和2年4月)	任期満了のため令和2年4月1日付けで変更(2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学研究科 総合人間学専攻 (博士後期課程) 博士（文学） 博士（学術）	文学関係	3年	12人	-	36人	新規入学者を募集	基礎となる学部等： 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	12 ( - ) [ - ]	-	12 ( - ) [ - ]	-	12 ( - ) [ - ]	-	1.16倍	-	
志願者数	16 ( 0 ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	18 ( 0 ) [ 9 ]	- ( - ) [ - ]	19 ( 0 ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	16 ( 0 ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	18 ( 0 ) [ 9 ]	- ( - ) [ - ]	19 ( 0 ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	12 ( 0 ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	16 ( 0 ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	17 ( 0 ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	12 ( 0 ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	14 ( 0 ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	16 ( 0 ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	1.00		1.16		1.33				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	12 [ 3 ] ( - )	- [ - ] ( - )	14 [ 6 ] ( - )	- [ - ] ( - )	16 [ 5 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		12 [ 3 ] ( - )	- [ - ] ( - )	14 [ 6 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次	/		/		10 [ 3 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計	12 [ 3 ] ( - )		26 [ 9 ] ( - )		40 [ 14 ] ( - )		

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	12 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	26 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	42 人	2 人	令和元年度	2 人	0 人	経済的事情(1人)、職業上の都合(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		2 人		2 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{42} = \boxed{4.76} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<文学研究科 総合人間学専攻 博士後期課程>

### (1) -① 授業科目表

#### 【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			1						兼2
	小計 (1科目)	—	2			1						兼2
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		5	2					兼1
	西洋古典文化特論	1後		2			1					
	人文社会科学研究	1前		2								兼1
	英語発表技能演習	1後		2								兼1
	英語研究論文作成法	1前		2								兼1
	日本語研究論文作成法	1前		2								兼1
	人文統計基礎演習	1後		2		1						
	キャリア設計演習	1後		2								兼1
	小計 (8科目)	—		16		6	3					兼6
	学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通		2		1					
学術発表実習Ⅱ		1・2・3通		2		1						
国際活動実習Ⅰ		1・2・3通		2		1						
国際活動実習Ⅱ		1・2・3通		2		1						
研究・教育実践活動実習Ⅰ		1・2・3通		2		1						
研究・教育実践活動実習Ⅱ		1・2・3通		2		1						
小計 (6科目)	—		12		1							
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			11	10					兼3
	小計 (1科目)	—	8			11	10					兼3
合計 (16科目)	—		10	28		11	10					兼11
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

#### 【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			2	2					兼11
	小計 (1科目)	—	2			2	2					兼11
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		6	1					兼1
	西洋古典文化特論	1後		2		1						
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2								兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2								兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2								兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2								兼1
	英語発表技能演習	1後		2								兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2								兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2								兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2								兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2								兼1
	人文統計基礎演習	1前		2		1						
	キャリア設計演習	1後		2								兼1
	科学技術社会論実践演習	1前		2		1						兼4
小計 (14科目)	—		28		8	1					兼11	
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通		2		1						
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通		2		1						
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通		2		1						
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通		2		1						
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通		2		1						
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通		2		1						
小計 (6科目)	—		12		1							
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			14	12					
	小計 (1科目)	—	8			14	12					
合計 (22科目)	—		10	40		14	12					兼22
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			5						兼10
	小計(1科目)	—	2			5						兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前	2			5	2					兼1
	西洋古典文化特論	1後	2				1					
	人文社会科学研究Ⅰ	1前	2									兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後	2									兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前	2			1						兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後	2			1						兼1
	英語発表技能演習	1後	2									兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1
	人文統計基礎演習	1前	2				1					
	キャリア設計演習	1後	2									兼1
小計(13科目)	—	—	26			6	3					兼7
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通	2			1						
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通	2			1						
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通	2			1						
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通	2			1						
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通	2			1						
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通	2			1						
小計(6科目)	—	—	12			1						
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			12	12					兼3
	小計(1科目)	—	8			12	12					兼3
合計(21科目)	—	—	10	38		12	12					兼17
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			3	1					兼11
	小計(1科目)	—	2			3	1					兼11
スキル科目	研究倫理特論	1前	2			5	2					兼1
	西洋古典文化特論	1後	2				1					
	人文社会科学研究Ⅰ	1前	2									兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後	2									兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前	2			2						兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後	2			2						兼1
	英語発表技能演習	1後	2									兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1
	人文統計基礎演習	1前	2				1					
	キャリア設計演習	1後	2									兼1
	科学技術社会論実践演習	1前	2				1					兼4
小計(14科目)	—	—	28			8	2					兼10
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通	2			1						
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通	2			1						
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通	2			1						
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通	2			1						
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通	2			1						
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通	2			1						
小計(6科目)	—	—	12			1						
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			13	12					兼2
	小計(1科目)	—	8			13	12					兼2
合計(22科目)	—	—	10	40		13	12					兼21
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和元年度】**

- ・教育内容の充実のため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授1、兼2」から「教授5、兼10」に変更。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究」から「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法」から「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「日本語研究論文作成法」から「日本語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「日本語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・教授1名及び准教授2名採用のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授11、准教授10」から「教授12、准教授12」に変更。

**【令和2年度】**

- ・担当教員見直しのため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授5、兼10」から「教授3、准教授1、兼11」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、西洋古典文化特論の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」及び「日本語・日本文化論特論Ⅱ」の専任教員等の配置から「教授1」を削除。
- ・担当教員見直しのため、「キャリア設計演習」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「科学技術社会論実践演習」を新設。
- ・准教授から教授への昇任、准教授1名退職、准教授2名採用及び兼任講師1名就任辞退のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授12、准教授12、兼3」から「教授13、准教授12、兼2」に変更。

**【令和3年度】**

- ・担当教員見直しのため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1、兼11」から「教授2、准教授2、兼11」に変更。
- ・准教授から教授への昇任1名のため、「研究倫理特論」の専任教員等の配置を「教授5、准教授2、兼1」から「教授6、准教授1、兼1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「キャリア設計演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任1名、准教授1名採用及び兼任講師2名就任辞退のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授13、准教授12、兼2」から「教授14、准教授12」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2科目	14科目	0科目	16科目	2科目	20科目	0科目	22科目	
				[ 0 ]	[ 6 ]	[ 0 ]	[ 6 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用地減少等のため(3) 購入のため(2)					
	校舎敷地	21,912,174㎡ <del>21,917,049㎡</del> 21,915,365㎡	0㎡	0㎡	21,912,174㎡ <del>21,917,049㎡</del> 21,915,365㎡						
	運動場用地	132,573㎡	0㎡	0㎡	132,573㎡						
	小 計	22,044,747㎡ <del>22,049,622㎡</del> 22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,044,747㎡ <del>22,049,622㎡</del> 22,047,938㎡						
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡						
	合 計	22,044,747㎡ <del>22,049,622㎡</del> 22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,044,747㎡ <del>22,049,622㎡</del> 22,047,938㎡						
(2) 校 舎	専 用	1,123,168㎡ <del>1,119,573㎡</del> 1,121,513㎡	0㎡	0㎡	1,123,168㎡ <del>1,119,573㎡</del> 1,121,513㎡	新築、増築等のため(3) 一部取り壊しのため(2)					
		(1,121,513㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(1,121,513㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	12室	演 習 室	16室	実験実習室	13室	情報処理学習施設	1室 (補助職員 3人)	語学学習施設	0室 (補助職員 0人)	
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		専任教員退職のため(3)			
		文学研究科 総合人間学専攻			25 27						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本			研究科単位での特定不能な ため、大学全体の数
	文学研究科 総合人間学専攻	冊	種		種	点	点	点			
		4,181,137〔1,972,543〕 <del>4,180,950〔1,974,780〕</del> 4,168,468〔1,974,876〕	86,703〔44,235〕 <del>86,598〔42,652〕</del> 86,198〔42,422〕		15,412〔13,916〕 <del>13,643〔13,628〕</del> 13,287〔13,272〕	7,454 <del>7,429</del> 8,242	48,221 <del>46,462</del> 45,198	2,432,338 <del>2,429,337</del> 2,432,338			
	計	4,181,137〔1,972,543〕 <del>4,180,950〔1,974,780〕</del> 4,168,468〔1,974,876〕	86,703〔44,235〕 <del>86,598〔42,652〕</del> 86,198〔42,422〕		15,412〔13,916〕 <del>13,643〔13,628〕</del> 13,287〔13,272〕	7,454 <del>7,429</del> 8,242	48,221 <del>46,462</del> 45,198	2,432,338 <del>2,429,337</del> 2,432,338			
		4,181,137〔1,972,543〕 <del>4,180,950〔1,974,780〕</del> 4,168,468〔1,974,876〕	86,703〔44,235〕 <del>86,598〔42,652〕</del> 86,198〔42,422〕		15,412〔13,916〕 <del>13,643〔13,628〕</del> 13,287〔13,272〕	7,454 <del>7,429</del> 8,242	48,221 <del>46,462</del> 45,198	2,432,338 <del>2,429,337</del> 2,432,338			
	(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		取 納 可 能 冊 数		大学全体			
41,253㎡ <del>37,050㎡</del> 45,481㎡		2,177席 <del>2,554席</del> 2,885席		4,350,944冊 <del>3,914,722冊</del> 4,328,122冊		改修工事の完了及び新型コロナ ウイルス感染症予防対策に 伴う座席数の縮小のため (3) 一部改修中のため(2)					
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体				
	7,064㎡ <del>7,024㎡</del>		武道場				増築のため(3)				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度				
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円			
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	学生納付金以外の維持方法の概要										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		東北大学				学生募集停止学科数		0		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		0		備考
既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地			
		年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
文学部	人文社会学科	4	210	—	840	学士（文学）	1.05	1.07		平9年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号			
教育学部	教育科学科	4	70	—	280	学士（教育学）	1.05	1.05		平10年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号			
法学部	法学科	4	160	—	640	学士（法学）	1.04	1.03		昭24年度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号			
経済学部	経済学科	4	130	3年次10	540	学士（経済学）	1.03	1.01		昭24年度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号			
	経営学科	4	130	3年次10	540					昭43年度				
	計		260	20	1,080					1.03		1.01		
理学部	数学科	4	45	—	180	学士（理学）	0.98	1.00		昭24年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号			
	物理学科	4	78	—	312		1.00	1.00		平6年度改組・統合				
	宇宙地球物理学科	4	41	—	164					平4年度改組				
	化学科	4	70	—	280		1.07	1.01		平7年度改組・統合				
	地圏環境科学科	4	30	—	120					平4年度改組				
	地球惑星物質科学科	4	20	—	80		1.01	1.02		平4年度改組（平20年度改称）				
	生物学科	4	40	—	160		1.04	1.02		昭24年度				
計			324	—	1,296		1.01	1.00						
医学部	医学科	6	116	—	772	学士（医学）	1.00	1.00	令和2	昭24年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	令和2年度定員変更（11）		
	保健学科	4	144	—	576	学士（看護学） 学士（保健学）	1.00	1.02		平16年度改組				
	計		260	—	1,348		1.00	1.01						
歯学部	歯学科	6	53	—	318	学士（歯学）	1.00	1.00		昭40年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号			
薬学部	創薬科学科	4	60	—	240	学士（創薬科学）	1.06	1.05		平18年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号			
	薬学科	6	20	—	120	学士（薬学）	1.06	1.05						
	計		80	—	360		1.06	1.05						

工学部	機械知能・航空工学科	4	234	—	936	学士 (工学)	1.00	0.95		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号	
	電気情報物理工学科	4	243	—	972		1.02	1.03		平16年度改組 (平19年度・平27年度改称)		
	化学・バイオ工学科	4	113	—	452		1.00	1.02		平16年度改組		
	材料科学総合学科	4	113	—	452		1.02	1.03				
	建築・社会環境工学科	4	107	—	428		0.99	0.98				
	計		810	—	3,240		1.01	1.00				
農学部	生物生産科学科	4	90	—	360	学士 (農学)	1.03	0.98		平4年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1	
	応用生物化学科	4	60	—	240							
	計		150	—	600							

※ 複数の学科を有する学部の学生募集は、経済学部、薬学部及び農学部にあつては学部一括で、理学部にあつては1又は複数の学科毎にそれぞれ行い、学生の所属学科は、第1年次修了時、第2年次又は第3年次に決定する。

文学研究科	日本学専攻	5	29	—	58	修士 (文学) 修士 (学術) 博士 (文学) 博士 (学術)	1.27	1.31	令和元	令和元年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	学生数は、上段が前期課程で、下段が後期課程である。
			14	—	42		1.25	1.14				
	広域文化学専攻	5	29	—	58		0.73	0.79				
			12	—	36		0.99	1.08				
総合人間学専攻	5	31	—	62	1.12	1.16						
		12	—	36	1.16	1.33						
教育学研究科	総合教育科学専攻	5	45	—	90	修士 (教育学) 修士 (教育情報学) 博士 (教育学) 博士 (教育情報学)	0.94	0.97		平30年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
			15	—	45		0.86	0.80				
法学研究科	法政理論研究専攻	5	10	—	20	修士 (法学) 修士 (学術) 博士 (法学) 博士 (学術)	0.90	0.30		平12年度改組 (平18年度改称)	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
			12	—	36		0.71	0.41				
	総合法制専攻 (法科大学院の課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.95	0.98		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号	
	公共法政策専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	公共法政策修士 (専門職)	0.98	0.96				
経済学研究科	経済経営学専攻	5	60	—	120	修士 (経済学) 修士 (経営学) 修士 (学術) 博士 (経済学) 博士 (経営学) 博士 (学術)	0.86	0.60		平17年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	令和2年度定員変更(△6)
			14	—	48		0.67	0.28				
	会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	—	80	会計修士 (専門職)	0.89	0.87		平17年度		

理学研究科	数学専攻	5	38 18	— —	76 54	修士 (理学) 修士 (学術) 博士 (理学) 博士 (学術)	0.98 0.62	1.02 0.66		平7年度 改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
	物理学専攻	5	91 46	— —	182 138		0.81 0.55	0.76 0.41		平6年度 改組		
	天文学専攻	5	9 4	— —	18 12		1.55 0.75	1.44 0.75		平6年度 改組		
	地球物理学専攻	5	26 13	— —	52 39		1.01 0.58	1.03 0.46		平7年度 改組		
	化学専攻	5	66 33	— —	132 99		1.08 0.64	0.92 0.72		平7年度 改組		
	地学専攻	5	32 16	— —	64 48		1.14 0.52	1.00 0.50		平6年度 改組		
	医学系研究科	医科学専攻 (修士課程)	2	30	—		60	修士 (医科学) 修士 (学術)	1.19	1.16		
医科学専攻 (博士課程)		4	130	—	520	博士 (医学) 博士 (学術)	1.08	0.93		平9年 度改組		
障害科学専攻		5	20	—	40	修士 (障害科学) 修士 (学術) 博士 (障害科学)	0.92	1.00		平6年 度改組		
			9	—	27	博士 (学術)	0.70	0.22		平8年 度改組		
保健学専攻		5	32	—	64	修士 (看護学) 修士 (保健学) 修士 (学術) 博士 (看護学)	1.25	1.25		平20 年度改組		
			12	—	36	博士 (保健学) 博士 (学術)	0.91	0.66		平22 年度改組		
公衆衛生学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (公衆衛生学)	1.10	1.00		平27 年 度			
歯学研究科	歯科学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (口腔科学) 修士 (学術)	0.87	0.62		平16 年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町4番1 号	
	歯科学専攻 (博士課程)	4	42	—	168	博士 (歯学) 博士 (学術)	0.99	1.19		平12 年 度改組		
薬学研究科	分子薬科学専攻	5	22	—	44	修士 (薬科学) 修士 (学術) 博士 (薬科学)	1.47	1.72		平22 年 度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
			8	—	24		博士 (学術)	0.70				
	生命薬科学専攻	5	32	—	64	博士 (薬科学) 博士 (学術)	0.85	0.81		平24 年 度		
			10	—	30		博士 (学術)	0.73				
医療薬学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士 (薬学) 博士 (学術)	0.50	0.50		平24 年 度			

工 学 研 究 科	機械機能創成専攻	5	42	—	84	修士 (工学) 修士 (学術) 博士 (工学) 博士 (学術)	1.38	1.19	平7年度 改組(平 16年度 改称・ 平28年 度改称)	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番6号
			10	—	30		1.26	0.30		
	ファインメカニクス専攻	5	45	—	90		0.95	0.84	平15年 度(平 28年 度改 称)	
			11	—	33		0.54	0.18		
	ロボティクス専攻	5	42	—	84		0.86	0.88	平7年度 改組	
			11	—	33		0.69	0.18		
	航空宇宙工学専攻	5	42	—	84		1.47	1.35	昭33年 度(平8 年度改 称)	
			11	—	33		1.35	1.81		
	量子エネルギー工学専攻	5	38	—	76		1.07	0.94	平24年 度	
			11	—	33		0.78	0.72		
	電気エネルギーシステム専攻	5	32	—	64		1.15	1.00	昭28年 度	
			8	—	24		0.24	0.37		
	通信工学専攻	5	31	—	62		1.41	1.48	昭40年 度	
			8	—	24		0.83	0.50		
電子工学専攻	5	51	—	102	0.94	0.94	平4年度 (平16年 度改称)			
		15	—	45	0.26	0.13				
応用物理学専攻	5	32	—	64	0.99	1.18	昭28年 度			
		11	—	33	0.72	0.45				
応用化学専攻	5	26	—	52	0.91	1.07	昭40年 度			
		8	—	24	0.62	0.75				
化学工学専攻	5	34	—	68	0.92	0.76	平4年度 (平16年 度改称)			
		7	—	21	0.71	1.00				
バイオ工学専攻	5	19	—	38	1.18	1.10	昭28年 度(平16 年度改 称)			
		5	—	15	0.93	1.20				
金属フロンティア工学専攻	5	26	—	52	1.28	1.42	昭39年 度(昭62 年度・ 平16年 度改称)			
		7	—	21	1.13	1.28				
知能デバイス材料学専攻	5	37	—	74	1.02	0.83	昭44年 度(平9 年度・ 平16年 度改称)			
		10	—	30	0.96	0.80				
材料システム工学専攻	5	30	—	60	1.08	1.10	昭38年 度			
		8	—	24	0.83	0.25				
土木工学専攻	5	43	—	86	1.12	1.09	昭38年 度(平8 年度改 称)			
		12	—	36	1.38	1.33				
都市・建築学専攻	5	45	—	90	1.12	1.04	平14年 度			
		8	—	24	1.62	1.75				
技術社会システム専攻	5	21	—	42	1.07	0.95	平15年 度改組			
		13	—	39	0.40	0.38				
農 学 研 究 科	資源生物科学専攻	5	36	—	72	修士 (農学) 修士 (学術) 博士 (農学) 博士 (学術)	1.10	0.91	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1	
			13	—	39		0.84	0.23		
	応用生命科学専攻	5	35	—	70		1.05	1.00		
13			—	39	0.43	0.38				
生物産業創成科学専攻	5	38	—	76	1.11	0.86				
		11	—	33	0.93	0.27				

国際文化研究科	国際文化研究専攻	5	35	—	70	修士 (国際文化) 修士 (学術) 博士 (国際文化) 博士 (学術)	0.89	0.62		平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区川内41	
			16	—	48		0.81	0.50				
情報科学研究科	情報基礎科学専攻	5	38	—	76	修士 (情報科学) 修士 (学術) 博士 (情報科学) 博士 (学術)	0.93	0.81		平5年度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
			11	—	33		0.48	0.36				
	システム情報科学 専攻	5	37	—	74		1.25	1.16				
			11	—	33		1.29	0.54				
人間社会情報科学 専攻	5	30	—	60	0.54	0.36						
		10	—	30	0.83	0.70						
応用情報科学専攻	5	35	—	70	1.12	0.97						
		10	—	30	0.83	1.00						
生命科学研究科	脳生命統御科学専攻	5	36	—	72	修士 (生命科学) 修士 (学術) 博士 (生命科学) 博士 (学術)	0.69	0.61		平30年 度改組	宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号	
			10	—	30		0.73	1.10				
	生態発生適応科学 専攻	5	35	—	70		0.82	0.88				
10			—	30	0.80	0.90						
分子化学生物学専攻	5	35	—	70	1.21	1.14						
		10	—	30	0.96	0.90						
環境科学研究科	先進社会環境学専攻	5	40	—	80	修士 (環境科学) 修士 (学術) 博士 (環境科学) 博士 (学術)	1.11	1.05		平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1	
			13	—	39		1.02	0.61				
先端環境創成学専攻	5	60	—	120	0.88	0.80						
		20	—	60	0.83	0.50						
医工学研究科	医工学専攻	5	39	—	78	修士 (医工学) 修士 (学術) 博士 (医工学) 博士 (学術)	1.07	1.07		平20年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号 宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番6号 宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号	
			12	—	36		1.13	0.66				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 総合人間学専攻 博士後期課程>

(1) -① 担当教員表

【事前伺い時】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	直江 清隆 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	直江 清隆 (58) <平成31年4月> 博士(文学)	直江 清隆 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	直江 清隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	直江 清隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	直江 清隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	科学技術社会論実践演習 博士論文研究	科学技術社会論実践演習 博士論文研究	科学技術社会論実践演習 博士論文研究
専	教授	戸島 貴代志 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	戸島 貴代志 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	戸島 貴代志 (61) <平成31年4月> 博士(文学)	戸島 貴代志 (62) <平成31年4月> 博士(文学)	戸島 貴代志 (62) <平成31年4月> 博士(文学)	戸島 貴代志 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 博士論文研究	人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	長岡 龍作 (58) <平成31年4月> 文学修士	長岡 龍作 (59) <平成31年4月> 文学修士	長岡 龍作 (60) <平成31年4月> 文学修士	長岡 龍作 (61) <平成31年4月> 文学修士	長岡 龍作 (61) <平成31年4月> 文学修士	長岡 龍作 (61) <平成31年4月> 文学修士
		学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 博士論文研究	人文社会科学特別科目 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究
専	教授	尾崎 彰宏 (62) <平成31年4月> 修士(文学)	尾崎 彰宏 (63) <平成31年4月> 修士(文学)	尾崎 彰宏 (64) <平成31年4月> 修士(文学)	尾崎 彰宏 (64) <平成31年4月> 修士(文学)		
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究		
兼任	講師	尾崎 彰宏 (62) <平成33年4月> 修士(文学)	尾崎 彰宏 (63) <令和3年4月> 修士(文学)	尾崎 彰宏 (64) <令和3年4月> 修士(文学)	尾崎 彰宏 (64) <令和3年4月> 修士(文学)		
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究		
専	教授	阿部 恒之 (56) <平成31年4月> 博士(文学)	阿部 恒之 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	阿部 恒之 (58) <平成31年4月> 博士(文学)	阿部 恒之 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	阿部 恒之 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	阿部 恒之 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究	人文社会科学特別科目 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ 研究倫理特論 博士論文研究	人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究	人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究	人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究	人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	坂井 信之 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)	坂井 信之 (49) <平成31年4月> 博士(人間科学)	坂井 信之 (50) <平成31年4月> 博士(人間科学)	坂井 信之 (51) <平成31年4月> 博士(人間科学)	坂井 信之 (51) <平成31年4月> 博士(人間科学)	坂井 信之 (51) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	後藤 斉 (62) <平成31年4月> 修士(文学)	後藤 斉 (63) <平成31年4月> 修士(文学)	後藤 斉 (64) <平成31年4月> 修士(文学)	後藤 斉 (64) <平成31年4月> 修士(文学)		
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究		
兼任	講師	後藤 斉 (62) <平成33年4月> 修士(文学)	後藤 斉 (63) <令和3年4月> 修士(文学)	後藤 斉 (64) <令和3年4月> 修士(文学)	後藤 斉 (64) <令和3年4月> 修士(文学)		
		博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究	博士論文研究		
専	教授	小泉 政利 (53) <平成31年4月> Ph. D. (アメリカ)	小泉 政利 (54) <平成31年4月> Ph. D. (アメリカ)	小泉 政利 (55) <平成31年4月> Ph. D. (アメリカ)	小泉 政利 (56) <平成31年4月> Ph. D. (アメリカ)	小泉 政利 (56) <平成31年4月> Ph. D. (アメリカ)	小泉 政利 (56) <平成31年4月> Ph. D. (アメリカ)
		研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究	研究倫理特論 博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	長谷川 公一 (63) <平成31年4月> 博士(社会学)	専	教授	長谷川 公一 (64) <平成31年4月> 博士(社会学)			
		博士論文研究			博士論文研究			
兼任	講師	長谷川 公一 (63) <平成32年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	長谷川 公一 (64) <令和2年4月> 博士(社会学)			
		博士論文研究			博士論文研究			
専	教授	永井 彰 (58) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	永井 彰 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	永井 彰 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究			学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 博士論文研究
専	教授	小松 文晃 (49) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	小松 文晃 (50) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	小松 文晃 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究			人文社会科学特別科目 博士論文研究			人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	佐藤 嘉倫 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	佐藤 嘉倫 (61) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	佐藤 嘉倫 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究			人文社会科学特別科目 博士論文研究			人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	木村 邦博 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	木村 邦博 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	木村 邦博 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 人文統計基礎演習 博士論文研究			研究倫理特論 人文統計基礎演習 博士論文研究			研究倫理特論 人文統計基礎演習 博士論文研究
専	教授	浜田 宏 (47) <平成31年4月> 博士(社会学)	専	教授	浜田 宏 (48) <平成31年4月> 博士(社会学)	専	教授	浜田 宏 (49) <平成31年4月> 博士(社会学)
		博士論文研究			博士論文研究			キャリア設計演習 博士論文研究
			専	教授	足達 薫 (50) <令和元年10月> 博士(文学)	専	教授	足達 薫 (50) <令和元年10月> 博士(文学)
					博士論文研究			博士論文研究
専	准教授	荻原 理 (51) <平成31年4月> P h . D . ( ア メ リ カ )	専	准教授	荻原 理 (52) <平成31年4月> P h . D . ( ア メ リ カ )	専	教授	荻原 理 (53) <平成31年4月> P h . D . ( ア メ リ カ )
		西洋古典文化特論 博士論文研究			西洋古典文化特論 博士論文研究			西洋古典文化特論 博士論文研究
専	准教授	原 壘 (49) <平成31年4月> P h . D . ( ド イ ツ )	専	准教授	原 壘 (50) <平成31年4月> P h . D . ( ド イ ツ )	専	准教授	原 壘 (51) <平成31年4月> P h . D . ( ド イ ツ )
		研究倫理特論 博士論文研究			研究倫理特論 博士論文研究			研究倫理特論 博士論文研究
専	准教授	城戸 淳 (45) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	城戸 淳 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	城戸 淳 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究			博士論文研究 人文社会科学特別科目 博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	村山 達也 (42) <平成31年4月> 博士(哲学)	専	准教授	村山 達也 (43) <平成31年4月> 博士(哲学)	専	准教授	村山 達也 (45) <平成31年4月> 博士(哲学)
		博士論文研究			博士論文研究			博士論文研究
専	准教授	杉本 欣久 (45) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	杉本 欣久 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	杉本 欣久 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究			人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	FONGARO ENRICO (48) <平成31年4月> laureato in filosofia (イタリア)	専	准教授	FONGARO ENRICO (49) <平成31年4月> laureato in filosofia (イタリア)	専	准教授	FONGARO ENRICO (51) <平成31年4月> laureato in filosofia (イタリア)
		博士論文研究			博士論文研究			博士論文研究
専	准教授	辻本 昌弘 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	辻本 昌弘 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	辻本 昌弘 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 博士論文研究			研究倫理特論 博士論文研究			研究倫理特論 博士論文研究
専	准教授	荒井 崇史 (38) <平成31年4月> 博士(心理学)	専	准教授	荒井 崇史 (39) <平成31年4月> 博士(心理学)	専	准教授	荒井 崇史 (40) <平成31年4月> 博士(心理学)
		博士論文研究			博士論文研究			博士論文研究
専	准教授	木山 幸子 (39) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	木山 幸子 (40) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	木山 幸子 (41) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究			博士論文研究
専	准教授	永吉(大野) 希久子 (35) <平成31年4月> 博士(人間科学)	専	准教授	永吉(大野) 希久子 (36) <平成31年4月> 博士(人間科学)			
		博士論文研究			博士論文研究			
			専	准教授	田代 志門 (42) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	田代 志門 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
					博士論文研究			博士論文研究
			専	准教授	瀧川 裕貴 (44) <平成31年4月> 博士(社会学)	専	准教授	瀧川 裕貴 (45) <平成31年4月> 博士(社会学)
					博士論文研究			博士論文研究
						専	准教授	小川 和孝 (33) <令和2年4月> 博士(教育学)
								博士論文研究
			専	准教授	河地 庸介 (40) <令和2年4月> 博士(文学)	専	准教授	河地 庸介 (41) <令和2年4月> 博士(文学)
					博士論文研究			博士論文研究
						専	准教授	内藤 真帆 (44) <令和3年4月> 博士(文学)
								博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	高橋 章別 (61) <平成31年4月> 博士(社会学)						
		日本語研究論文作成法						
兼任	教授	小林 隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	小林 隆 (61) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	小林 隆 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論			人文社会科学特別科目 研究倫理特論			研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (56) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	佐倉 由泰 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	佐倉 由泰 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
兼任	教授	木村 敏明 (52) <平成31年4月> 博士(文学)					兼任	教授
		人文社会科学特別科目						木村 敏明 (55) <令和3年4月> 博士(文学)
								人文社会科学特別科目
兼任	教授	今井 勉 (56) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	今井 勉 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	今井 勉 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		キャリア設計演習			人文社会科学特別科目 キャリア設計演習			人文社会科学特別科目
			兼任	教授	小原 義朗 (50) <平成31年4月> 博士(文学)			
					人文社会科学特別科目			
			兼任	教授	三浦 秀一 (61) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	三浦 秀一 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
					人文社会科学特別科目			三浦 秀一 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
					人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
			兼任	教授	沼崎 一郎 (60) <平成31年4月> Ph.D.(アメリカ)	兼任	教授	沼崎 一郎 (61) <平成31年4月> Ph.D.(アメリカ)
					人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
			兼任	教授	片岡 龍 (54) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	教授	片岡 龍 (55) <令和2年4月> 博士(文学)
					人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
			兼任	教授	佐藤 茂雄 (53) <令和2年4月> 博士(情報科学)	兼任	教授	佐藤 茂雄 (54) <令和2年4月> 博士(情報科学)
					科学技術社会論実践演習			科学技術社会論実践演習
			兼任	教授	堀尾 喜彦 (60) <令和2年4月> 工学博士	兼任	教授	堀尾 喜彦 (61) <令和2年4月> 工学博士
					科学技術社会論実践演習			科学技術社会論実践演習
			兼任	教授	大森 美香 (56) <令和2年4月> Ph.D.(アメリカ)	兼任	教授	大森 美香 (57) <令和2年4月> Ph.D.(アメリカ)
					人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)	兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)	兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (45) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		英語発表技能演習			人文社会科学特別科目 英語発表技能演習			人文社会科学特別科目 英語発表技能演習
兼任	准教授	谷山 洋三 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	谷山 洋三 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	谷山 洋三 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学研究			人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
			兼任	准教授	籠橋 俊光 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	籠橋 俊光 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
					人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
			兼任	准教授	山田 仁史 (46) <平成31年4月> Dr. Phil. (ドイツ)	兼任	准教授	山田 仁史 (47) <平成31年4月> Dr. Phil. (ドイツ)
					人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
			兼任	准教授	大村 哲夫 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	大村 哲夫 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
					人文社会科学研究 I 人文社会科学研究 II			人文社会科学研究 I 人文社会科学研究 II
						兼任	准教授	高浦 康有 (46) <令和2年4月> 修士(商学)
								科学技術社会論実践演習
			兼任	准教授	山内 保典 (42) <令和2年4月> 博士(心理学)	兼任	准教授	山内 保典 (43) <令和2年4月> 博士(心理学)
								科学技術社会論実践演習
						兼任	准教授	仁平 政人 (42) <令和3年4月> 博士(文学)
								人文社会科学特別科目
			兼任	准教授	島崎 薫 (36) <令和3年4月> Ph. D. (オーストラリア)	兼任	准教授	島崎 薫 (36) <令和3年4月> Ph. D. (オーストラリア)
								人文社会科学特別科目
			兼任	准教授	猪股 歳之 (50) <令和3年4月> 博士(教育学)	兼任	准教授	猪股 歳之 (50) <令和3年4月> 博士(教育学)
								キャリア設計演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Max Phillips (49) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Languages)
		英語研究論文作成法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (35) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語・日本文化論特論 I 日本語・日本文化論特論 II
兼任	講師	Max Phillips (50) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Languages)
		英語研究論文作成法 I 英語研究論文作成法 II
兼任	講師	高橋(安住)亜希子 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語研究論文作成法 I 日本語研究論文作成法 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (36) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語・日本文化論特論 I 日本語・日本文化論特論 II
兼任	講師	Max Phillips (51) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Languages)
		英語研究論文作成法 I 英語研究論文作成法 II
兼任	講師	高橋(安住)亜希子 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語研究論文作成法 I 日本語研究論文作成法 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (37) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語・日本文化論特論 I 日本語・日本文化論特論 II
兼任	講師	Max Phillips (52) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Languages)
		英語研究論文作成法 I 英語研究論文作成法 II
兼任	講師	高橋(安住)亜希子 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語研究論文作成法 I 日本語研究論文作成法 II

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、戸島貴代志教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、長岡龍作教授の授業担当科目を追加。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、小松丈晃教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、佐藤嘉倫教授の授業担当科目を追加。
- ・令和元年10月足達薫教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月田代志門准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月瀧川裕貴准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、小林隆教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、今井勉教授の授業担当科目を追加。
- ・木村敏明教授就任辞退により、小河原義朗教授に変更。
- ・平成31年4月三浦秀一教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月沼崎一郎教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE准教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・平成31年4月籠橋俊光准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月山田仁史准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。教育課程の充実のため。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月高橋(安住) 亜希子講師就任。高橋卓則教授就任辞退及び教育課程の充実のため。

【令和2年度】

- ・教育課程の充実のため、直江清隆教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、戸島貴代志教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、長岡龍作教授の授業担当科目を削除。
- ・担当者見直しのため、阿部恒之教授の授業担当科目を削除。
- ・長谷川公一兼任講師就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。
- ・担当教員見直しのため、永井彰教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、浜田宏教授の授業担当科目を追加。
- ・荻原理准教授を教授へ昇任。
- ・担当教員見直しのため、杉本欣久准教授の授業担当科目を追加。
- ・永吉(大野) 希久子准教授退職により、小川和孝准教授に変更。
- ・令和2年4月河地庸介准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・担当教員見直しのため、今井勉教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、小河原義朗教授の授業担当科目を削除。
- ・令和2年4月片岡龍教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月佐藤茂雄教授及び堀尾喜彦教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月大森美香教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月高浦康有雄准教授及び山内保典准教授就任。教育課程の充実のため。

【令和3年度】

- ・尾崎彰宏兼任講師就任辞退。「博士論文研究」は他に担当教員がいるため支障なし。
- ・後藤齊兼任講師就任辞退に藤真帆准教授に変更。
- ・担当教員見直しのため、佐藤嘉倫教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、浜田宏教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、城戸淳准教授の授業担当科目を追加。
- ・辻本昌弘准教授を教授へ昇任。
- ・担当教員見直しのため、小林隆教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、佐倉由泰教授の授業担当科目を削除。
- ・山田仁史准教授退職のため、木村敏明教授に変更。
- ・担当教員見直しのため、沼崎一郎教授の授業担当科目を削除。
- ・令和3年4月大河内昌教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和3年4月鹿又喜隆教授就任。担当教員見直しのため。
- ・担当教員見直しのため、CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE准教授の授業担当科目を削除。
- ・谷山洋三准教授を教授へ昇任。
- ・令和3年4月仁平政人准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和3年4月島崎薫准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和3年4月猪股蔵之准教授就任。担当教員見直しのため。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
3 名	2 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
11	10	0	0	21	0	14	12	0	0	26	0
(14)	(12)	0	0	(26)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
21	0	0				26	0	0			
(26)	0	0									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
14	12	0	0	26	0	14	12	0	0	26	0
[ 3 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 5 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 5 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
26	0	0				26	0	0			
[ 5 ]	[ 0 ]	[ 0 ]				[ 5 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{21} = \boxed{123.8} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	永吉（大野）希久子	R2.3	必修	博士論文研究	①	R2.3.31付け一身上の都合のため辞任（2）
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{21} = 4.76 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	長谷川 公一	必修	博士論文研究	①	R2.3.31付け65歳で定年退職(2)	
2	教授	尾崎 彰宏	必修	博士論文研究	①	R3.3.31付け65歳で定年退職(3)	
3	教授	後藤 斉	必修	博士論文研究	①	R3.3.31付け65歳で定年退職(3)	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
3	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	3 科目	計	3 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 「博士論文研究」については、退職した専任教員と同じ研究分野の専任教員が担当しているため、教育上の支障はない。</p> <p>「学生への周知方法」 シラバスに授業科目の担当教員を掲載し、学生に周知している。</p>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<文学研究科 総合人間学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

運営会議、コンプライアンス推進委員会

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<運営会議>

木曜日を開催曜日とし、令和2年度は年間22回開催した。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長（国際交流室長を兼ねる）、評議員（評価・研究推進室長を兼ねる）、総務企画室長、学務教育室長、入試渉外室長、社会連携室長、事務長で、各係長が陪席した。

<コンプライアンス推進委員会>

不定期開催としており、令和2年度は開催しなかった。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長、評議員、事務長。

##### c 委員会の審議事項等

<運営会議>

研究科及び学部の運営に関する全般（中期目標・中期計画に関する事柄、各種評価・研究推進に関する事柄を含む）。

<コンプライアンス推進委員会>

公正な研究・教育活動推進のための施策全般（研究倫理遵守・ハラスメント防止に関する教育・FDの実施に関する事柄、教員研修に関する事柄、研究データの保存・管理に関する事柄を含む）。

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

令和2年度は、評価・研究推進室（運営会議）及びコンプライアンス推進委員会の企画のもと、APRIN eラーニングプログラムの受講を促した。

また、学務教育室（運営会議）の企画のもと、「東北大学文学研究科・文学部授業評価アンケートおよびオンライン教育環境アンケート実施報告」を1/14に行った。

本学高度教養教育・学生支援機構・大学教育支援センターが提供する「新任教員プログラム（NFP）」を新任教員に受講させた。また、同センターが提供する「専門性開発プログラム（PDF）」の受講を教員に促した。

##### b 実施方法

APRIN eラーニングプログラムは一般財団法人公正研究推進協会が提供するeラーニング教材を利用して実施した。FDは講義形式（オンライン）で実施し、参加できなかった教員へも録画データの提供を行った。講師は、学務教育室教育改善担当（カリキュラム担当）の城戸准教授が行った。

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

APRIN eラーニングプログラムは随時行っている。全員の受講を促す。また新任教員研修は、NFPに沿って1年間をかけて実施される。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育方法等に関して「東北大学 文学研究科・文学部授業評価アンケートおよびオンライン教育環境アンケート実施報告」で得られた知見を授業改善に反映させるべく、学務教育室（運営会議）を中心に検討を進める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての開講科目で実施。セメスターの終了時期にアンケートを配付し、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教員にフィードバックし、次学期以降の授業の改善に役立てている。評価結果の公開は行っていない。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検・評価としては、東北大学が毎年度実施している部局評価において実施するが、これと並行して評価・研究推進室（運営会議）を中心に、当研究科独自の自己点検評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和3年度中に公表を予定。

b 公表方法

自己点検・評価報告書を作成し公表する予定。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） ]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。